

SONY®

取扱説明書（ヘルプガイド）

XPERIA J1 Compact
D5788

目次

ご使用前の確認と設定 2

はじめにお読みください	2
各部の名称と機能	3
SIMカードについて	4
充電する	5
電源を入れる／切る	8
初期設定を行う	9

基本操作 10

タッチスクリーンの使いかた	10
キーアイコンの基本操作	11
縦／横画面表示を自動で切り替える ..	11
マナーモードを設定する	11
表示されている画面を撮影する	12
通知LEDについて	12
ステータスバー	13
通知パネル	15
ホーム画面の見かた	16
シンプルホーム	18
アプリ画面	19
タスクマネージャー	23
本製品内のデータやウェブページを検索 する	24
文字を入力する	25
文字入力の設定	29

アプリ 30

電話	30
連絡先	34
メッセージ (SMS)	36
Eメール	38
Gmail	40
Google Chrome	40
Google Play	41
おサイフケータイ®	42
FMラジオ	43
カメラ	44
アルバム	51
ムービー	52
YouTube	53
Walkman®	53
Google マップ	54
カレンダー	55
アラームと時計	56

本体設定 57

設定メニューを表示する	57
無線とネットワーク	57
機器	61
ユーザー設定	65
アカウント	69
システム	70

ファイル管理 72

ストレージ構成	72
ファイル操作	73
Bluetooth機能	74
NFC通信	76
パソコンとの接続	77
DLNA 機器との接続	79

トラブルシューティング.. 80

故障かな？と思ったら	80
------------------	----

その他 84

保証とアフターサービス	84
取扱上のご注意	84
防水／防塵性能	85
ソフトウェアを更新する	88
主な仕様	89
Guidelines for Safe and Efficient Use	90
エンドユーザーライセンス契約	94
輸出管理規制について	94
おサイフケータイ®対応サービスご利用 上の注意	95
知的財産権について	97

はじめにお読みください

この取扱説明書（ヘルプガイド）は、Androidバージョン4.4に対応しています。

お買い上げいただき、ありがとうございます。

ご使用になる前に、付属の『重要なお知らせ（安全のために）』を必ずお読みください。

この取扱説明書（ヘルプガイド）には、本製品の操作やアプリに関する説明が記載されています。取扱説明書（ヘルプガイド）のPDF版を本製品へダウンロードすることができます。

- 本書の内容の一部、または全部を無断転載することは、禁止されています。

取扱説明書（ヘルプガイド）について

取扱説明書（ヘルプガイド）のPDF版は本製品にダウンロードして保存しておくことができます。

- 1 ホーム画面で   [取扱説明書]
- 2 取扱説明書（ヘルプガイド）が表示されたら、「PDF版（ダウンロード）」をタップ
- 3 ダウンロードが完了してステータスバーに  が表示されたら、ステータスバーを下にドラッグ
- 4 「helpguide_pdf.pdf」をタップ

🔦お知らせ

- ダウンロードした取扱説明書（ヘルプガイド）を後から参照するには、ホーム画面で  [ツール] ▶ [ダウンロード] ▶ 「helpguide_pdf.pdf」をタップします。

操作説明文の表記について

本書では、各キー（キーアイコン）の操作を 、、、、 を使って説明しています。

タッチスクリーンで表示されるアイコンや項目の選択操作を次のように表記して説明しています。

表 記	操作内容
ホーム画面で  ▶ [設定] ▶ [端末情報]	ホーム画面で  （アプリボタン）をタップして、次に表示された画面で「設定」を、さらに表示された画面で「端末情報」を順にタップする
アイコンをロングタッチ	画面上のアイコンを長めに（1～2秒間）触れたままにする

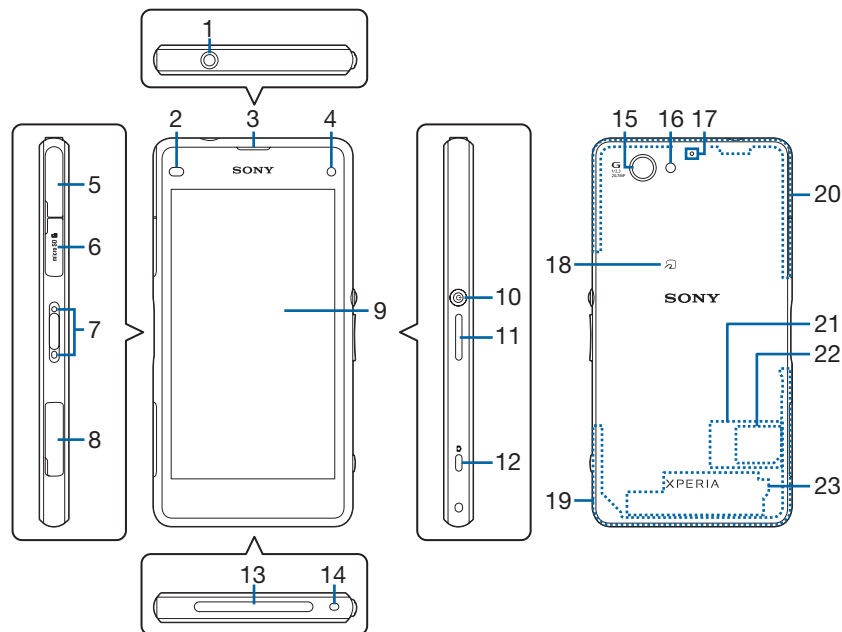
！注意

- 本書で掲載しているイラストや画面はイメージであるため、実際の製品や画面とは異なる場合があります。
- 契約している通信事業者によっては、各機能やサービスなどが異なる場合があります。

🔦お知らせ

- 本書の操作説明は、お買い上げ時のホーム画面からの操作で説明しています。別のアプリをホーム画面に設定している場合などは、操作手順が説明と異なることがあります。
- 本書では、操作方法が複数ある機能や設定の操作について、操作手順がわかりやすい方法で説明しています。
- 本書の本文中においては、「D5788」を「本製品」と表記しております。あらかじめご了承ください。

各部の名称と機能



- 1 ヘッドセット接続端子
- 2 近接センサー
- 3 受話口／通知LED
- 4 フロントカメラレンズ
- 5 microUSB接続端子
- 6 microSDカード挿入口
- 7 卓上ホルダ用接触端子
- 8 SIMカード挿入口
- 9 タッチスクリーン
- 10 電源キー／画面ロックキー
- 11 音量キー／ズームキー
- 12 カメラキー
- 13 送話口（マイク）／スピーカー
- 14 ストラップホール
- 15 カメラレンズ
- 16 フラッシュ／フラッシュライト
- 17 セカンドマイク
- 18 〻マーク
- 19 内蔵アンテナ部
- 20 内蔵アンテナ部／GPSアンテナ部
- 21 銘板プレート
- 22 SIMカード
- 23 Wi-Fi／Bluetoothアンテナ部

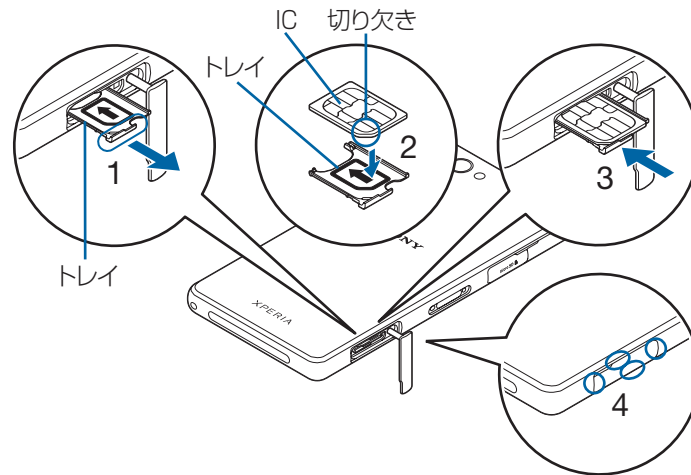
！ 注意

- ・ 近接センサー上にシールなどを貼らないでください。
- ・ CEマーク、FCC IDなどの情報が表示されていますので、銘板プレートは取り外さないでください。
- ・ アンテナは本体に内蔵されています。アンテナ付近を手で覆うと通信品質に影響を及ぼす場合があります。
- ・ 裏面カバーは取り外せません。無理に取り外そうとすると破損や故障の原因となります。
- ・ 電池は本体に内蔵されており、取り外せません。

SIMカードについて

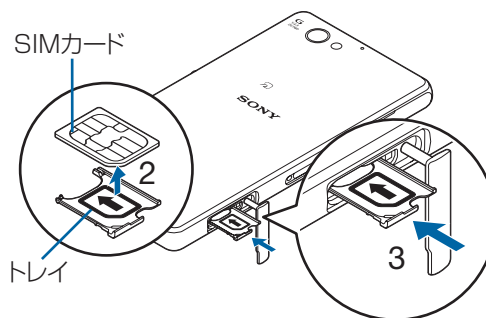
SIMカードとは、お客様の電話番号などの情報が記録されているICカードのことです。
• SIMカードの取り付け／取り外しは、本製品の電源を切ってから行ってください。

SIMカードを取り付ける



- 1 SIMカード挿入口カバーを開き、トレイの突起部に指先をかけてまっすぐに引き出し、本製品からトレイを取り外す**
- 2 SIMカードのIC面を上にしてトレイにはめ込む**
 - 切り欠きの方向にご注意ください。
- 3 トレイを本製品に差し込んで奥までまっすぐ押し込む**
 - トレイの差し込む方向にご注意ください。
- 4 SIMカード挿入口カバーを閉じて、○部分をしっかりと押し、本体とすき間がないことを確認**

SIMカードを取り外す



- 1 SIMカード挿入口カバーを開き、トレイの突起部に指先をかけてまっすぐに引き出し、本製品からトレイを取り外す**
- 2 トレイからSIMカードを取り出す**
- 3 トレイを本製品に差し込んで奥までまっすぐ押し込む**
 - トレイの差し込む方向にご注意ください。
- 4 SIMカード挿入口カバーを閉じてしっかりと押し、本体とすき間がないことを確認**

充電する

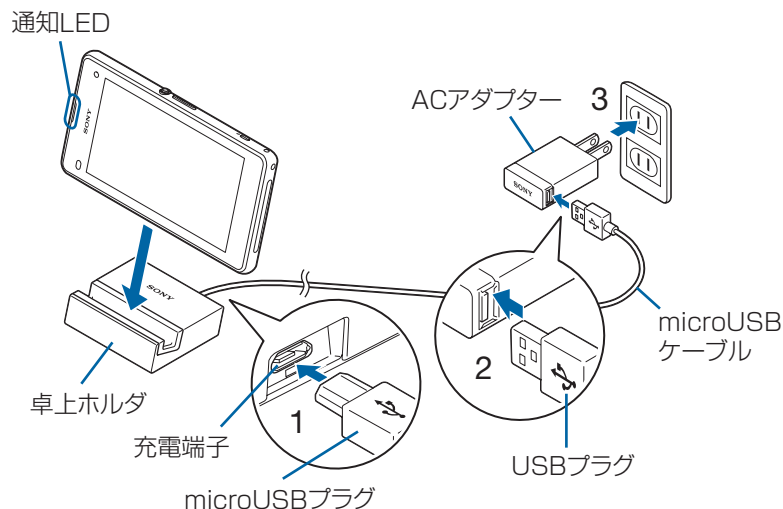
お買い上げ時の内蔵電池は十分に充電された状態ではありません。

充電について

- 充電には本体付属のACアダプターやmicroUSBケーブルをご使用ください。対応充電器以外をご使用になると、充電できない場合や正常に動作しなくなる場合があります。
- 充電は、適正な周囲温度（5℃～35℃）の場所で行ってください。
- 次のような場所では、充電しないでください。
 - 湿気、ほこり、振動の多い場所
 - 一般の電話機やテレビ・ラジオなどの近く
- 充電中、ACアダプターが温かくなることがありますが、異常ではありません。
- 電源オフの状態での充電を開始すると、操作はできませんが本製品の電源はオンになります。このため、航空機内や病院など、使用を禁止された区域では充電を行わないでください。
- 電池残量は、画面上部のステータスバーで確認できます。
- 内蔵電池の使用時間は、使用環境や内蔵電池の状態により異なります。
- 内蔵電池は消耗品です。充電を繰り返すごとに1回で使える時間が、次第に短くなっていきます。
- 充電しながらアプリなどを長時間使用すると、内蔵電池の寿命が短くなることがあります。

卓上ホルダを使って充電する

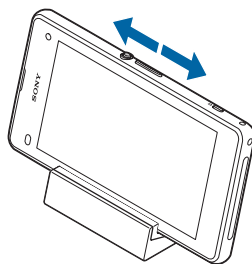
- 必ず卓上ホルダ付属のアタッチメント（アタッチメント42Aまたはアタッチメント42B）を取り付けて充電してください。アタッチメントを取り付けずに本製品を取り付けても充電できません。



- 1 卓上ホルダの裏側の充電端子に、microUSBプラグを水平に差し込む**
- 2 USBプラグをACアダプターに差し込む**
- 3 ACアダプターをコンセントに差し込む**

4 本製品を卓上ホルダに取り付け、カチッと音がするまで左右に動かす

- 正しく接合された場合は、本製品の通知LEDが点灯します。



5 充電が完了したら、卓上ホルダを押さえながら本製品を上方向に持ち上げて取り外す

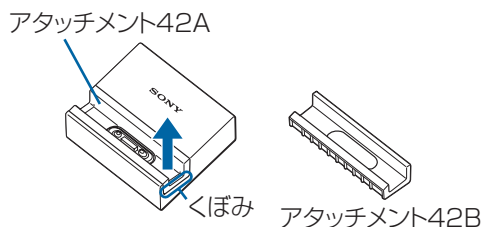
6 ACアダプターをコンセントから抜く

7 microUSB プラグを卓上ホルダから取り外す

アタッチメントを取り外す

- お買い上げ時はアタッチメント42Aが卓上ホルダに取り付けられています。

1 アタッチメントの片側のくぼみに指先をかけ、卓上ホルダを押さえながら斜めに持ち上げて取り外す

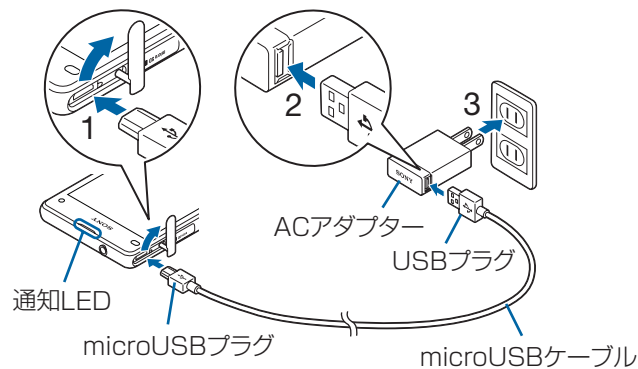


- アタッチメントを取り付けるには、卓上ホルダの取り付け部分の形状に合わせてアタッチメントをはめ込み、卓上ホルダとすき間が空かないようにしっかりと押してください。

！ 注意

- 卓上ホルダとパソコンを接続して充電することはできません。
- 接続方向をよくご確認ください。無理に接続すると破損の原因となります。
- アタッチメント42Bは「純正卓上ホルダ対応」マークのついた端末カバー（市販品）のみ対応し、端末カバーを使用したまま卓上ホルダで充電することができます。

ACアダプターを使って充電する



1 microUSB 接続端子カバーを開き、microUSB プラグを水平に差し込む

2 USB プラグをACアダプターに差し込む

3 ACアダプターをコンセントに差し込む

- 通知LEDが点灯します。

4 充電が完了したら、ACアダプターをコンセントから抜く

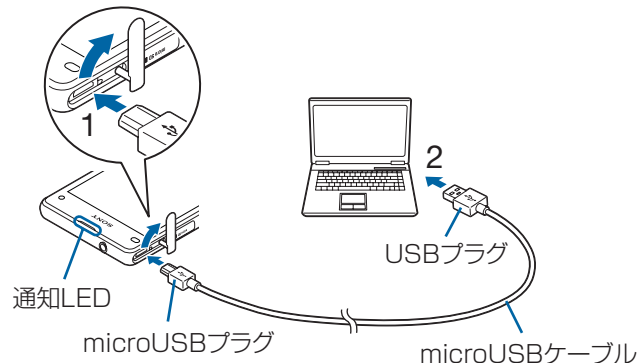
5 microUSB プラグを取り外し、microUSB 接続端子カバーを閉じる

！ 注意

- 接続方向をよくご確認ください。正しく接続してください。無理に接続すると破損の原因となります。

パソコンを使って充電する

- パソコンの電源を入れてから本製品を接続してください。



1 microUSB 接続端子カバーを開き、microUSB プラグを水平に差し込む

2 USB プラグをパソコンのUSBポートに差し込む

- 通知LEDが点灯します。
- 本製品上に「ソフトウェアをインストール」画面が表示されたら、[スキップ] または [キャンセル] をタップしてください。
- パソコン上に新しいハードウェアの検索などの画面が表示されたら「キャンセル」を選択してください。

3 充電が完了したら、USB プラグをパソコンのUSBポートから抜く

4 microUSB プラグを取り外し、microUSB 接続端子カバーを閉じる

！ 注意

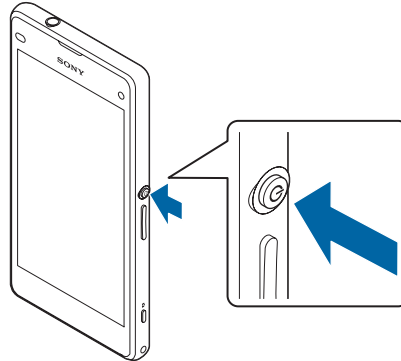
- 接続方向をよくご確認ください。正しく接続してください。無理に接続すると破損の原因となります。

電源を入れる／切る

電源を入れる

1 ㊦ を1秒以上押す

- 本製品が振動し、しばらくするとロック画面が表示されます。
- お買い上げ後に初めて本製品の電源を入れたときは、画面の指示に従って初期設定を行います (P.9)。



2 画面ロックを解除

💡お知らせ

- 電池残量が十分でない場合、電源を入れるために ㊦ を押すと、通知LEDが赤色で3回点滅したり、電池残量が少ないことを示すアイコンが表示されたりします。本製品を充電してください (P.5)。

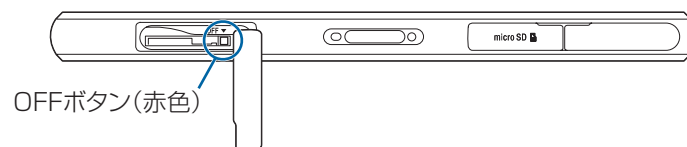
電源を切る

1 ㊦ を1秒以上押す

2 [電源を切る] ▶ [OK]

強制終了する

1 SIMカード挿入口カバーを開き、赤色のOFFボタンを先の細いもので約3秒間押し、3回振動した後に離す



💡お知らせ

- 赤色のOFFボタンは、針など尖ったもので押すと故障の原因になります。
- ㊦ と音量キーの上を同時に約3秒間押し、3回振動した後に指を離しても強制終了できます。

スリープモードにする

スリープモードにすると、画面のバックライトが消灯してタッチスクリーンやキーの誤動作を防止したり、画面ロックをかけたりします。

1 ㊦ を押す

- 再度 ㊦ を押すと、スリープモードが解除されます。

💡お知らせ

- 設定した時間が経過して、自動的に画面のバックライトが消灯した場合も、スリープモードになります。画面のバックライトが消灯するまでの時間は「画面設定」(P.62)の「スリープ」から変更できます。

画面ロックを解除する

ロック画面は、電源を入れたとき、または  を押してスリープモードを解除したときに表示されます。

1 ロック画面で画面を上下または左右にスワイプ

お知らせ

- 画面ロックの方法は「セキュリティ」(P.65) の「画面のロック」から変更できます。

ロック画面にウィジェットを追加する

ロック画面に、カレンダーや時計などのウィジェットを追加できます。

- あらかじめロック画面のウィジェットを有効にしておく必要があります (P.65)。

1 ロック画面でデジタル時計のウィジェットを右にドラッグ

2 ▶ 追加したいウィジェットをタップ

お知らせ

- ウィジェットを削除するには、ロック画面で削除するウィジェットをロングタッチ ▶ 画面上部に表示される「削除」までドラッグします。

初期設定を行う

初めて電源を入れたときは、画面の指示に従って、Google アカウントや基本の設定を行います。

1 **【日本語】 ▶ 【完了】 ▶**

- 以降は画面の指示に従って操作してください。

タッチスクリーンの使いかた

タッチスクリーン利用上のご注意

本製品のディスプレイはタッチスクリーンになっており、指で直接触れて操作します。

- タッチスクリーンは指で軽く触れるように設計されています。指で強く押したり、先の尖ったもの（爪／ボールペン／ピンなど）を押し付けたりしないでください。
- 次の場合はタッチスクリーンに触れても動作しないことがあります。
また、誤動作の原因となりますのでご注意ください。
 - 爪の先での操作
 - 異物を操作面に乗せたままでの操作
 - 保護シートやシールなどを貼った状態での操作
 - ディスプレイに水滴が付着または結露している状態での操作
 - 濡れた指または汗で湿った指での操作
 - 水中での操作

タッチスクリーン上の操作

タップ

アイコンやメニューなどの項目に指で軽く触れ、すぐに離します。

- 2回続けてすばやくタップすることを、ダブルタップといいます。

ロングタッチ

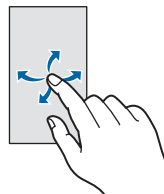
アイコンやメニューなどの項目に指で長く触れます。

ドラッグ

画面に触れたまま目的の位置までなぞって指を離します。

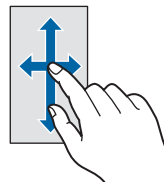
フリック／スワイプ

画面に触れて上下または左右にはらうように操作します。



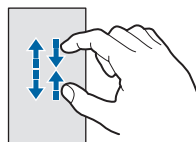
スクロール

画面内に表示しきれないときなどに、表示内容を上下左右に動かして、表示位置をスクロール（移動）します。



ピンチ

画面に2本の指で触れ、指の間隔を開いたり（ピンチアウト）閉じたり（ピンチイン）します。一部の画面では、ピンチアウトすると表示を拡大、ピンチインすると表示を縮小します。



キーアイコンの基本操作

画面下部に表示される 、、 の主な操作は次のとおりです。



	直前の画面に戻します。または、ダイアログボックス、オプションメニュー、通知パネルなどを閉じます。
	ホーム画面を表示します。ロングタッチして  ヘドレッジすると「Google」アプリを起動できます。
	最近使用したアプリをサムネイルで一覧表示し、起動したり終了したりします。また、スモールアプリを使用することができます（P.23）。

縦／横画面表示を自動で切り替える

本製品の向きに合わせて、自動的に縦画面表示または横画面表示に切り替わるように設定できます。

1 ホーム画面で ▶ [設定]

2 [画面設定] ▶ 「画面の自動回転」にチェックを入れる

◆お知らせ

- 表示中の画面によっては、「画面の自動回転」にチェックを入れても自動で縦／横画面表示が切り替わらない場合があります。
- 地面に対して水平に近い状態では、自動で縦／横画面表示が切り替わらない場合があります。

マナーモードを設定する

1 を1秒以上押す ▶ / / のいずれかをタップ

 : ミュート（音量0）

 : バイブレーション

 : マナーモード解除

◆お知らせ

- 音量キーの下を押し続けるとバイブレーションに、バイブレーション設定中に音量キーの下を押すとミュートに設定できます。ロック画面表示中やカメラなどの一部のアプリでは、音量キーの下を押してマナーモードを設定できません。
- マナーモード設定中でも、シャッター音などは消音されません。
- マナーモード設定中に、音量キーの上を押して音量を上げると、マナーモードは解除されます。

表示されている画面を撮影する

現在表示されている画面を画像として撮影できます（スクリーンショット）。

- ・撮影した画像は「アルバム」または「写真」アプリで確認できます。

1 スクリーンショットを撮影する画面で、 と音量キーの下を同時に1秒以上押す

- ・スクリーンショットが撮影され、ステータスバーにが表示されます。

💡お知らせ

- ・を1秒以上押す▶[スクリーンショット]をタップしても、スクリーンショットを撮影できます。

通知LEDについて

通知LEDの点灯／点滅により、充電中の電池の状態やメールの受信などをお知らせします。

LEDの色と点滅	通知内容
赤の点灯	充電中に電池残量が14%以下であることを示す
橙の点灯	充電中に電池残量が15%～89%であることを示す
緑の点灯	充電中に電池残量が90%以上であることを示す
赤の点滅	電池残量が14%以下であることを示す
薄紫の点滅	不在着信、新着メッセージ（SMS）、新着Gmailがあることを示す（バックライト消灯中、ロック画面を表示中に点滅）

💡お知らせ

- ・電池残量が十分でない場合は、電源を入れるためにを押すと通知LEDが赤色で3回点滅します。
- ・電源オフの状態で充電を開始すると、はじめに通知LEDが赤く点灯します。

ステータスバー

ステータスバーは画面上部に表示されます。ステータスバーには本製品の状態（ステータス）と通知情報が表示されます。ステータスバーの左側に通知アイコンが表示され、右側にステータスアイコンが表示されます。



ステータスバー

ステータスアイコン

主なステータスアイコンは次のとおりです。

- ：電波状態
- ：国際ローミング使用可能
- ：国際ローミング通信中
- ：圏外
- ：HSPA 使用可能
- ：HSPA 通信中
- ：3G（パケット）使用可能
- ：3G（パケット）通信中
- ：LTE 使用可能
- ：LTE 通信中
- ：Wi-Fi 接続中
- ：Wi-Fi 通信中
- ：Auto IP 機能で Wi-Fi 接続中
- ：Bluetooth 機能をオンに設定中
- ：Bluetooth 機器に接続中
- ：機内モード設定中
- ：マナーモード（バイブレーション）設定中
- ：マナーモード（ミュート）設定中
- ：スピーカーフォンがオンの状態
- ：送話口（マイク）がミュートの状態
- ：アラーム設定中
- ：NFC の Reader/Writer, P2P 機能をオンに設定中
- ：GPS 測位中
- ：STAMINA® モード設定中
- ：低バッテリーモード起動中
- ：電池の状態
- ：充電中
- ：電池残量が少ない状態（4% 以下）
- ：SIM カードが未挿入

通知アイコン

主な通知アイコンは次のとおりです。

- : 新着Eメールあり
- : 新着Gmailあり
- : 新着メッセージ (SMS) あり
- : メッセージ (SMS) の配信に問題あり
- : スクリーンショットあり
- : 新着Facebookメッセージあり
- : Facebookヘデータアップロード中
- : Facebookヘデータアップロード完了
- : Facebook機能の設定要求通知あり
- : データを受信／ダウンロード
- : データを送信／アップロード
- : Bluetooth通信でデータなどの受信通知あり
- : microSDカードのマウント解除 (読み書き不可)
- : microSDカードが取り外されている状態
- : microSDカードの準備中
- : アップデート通知あり
- : インストール完了
- : ソフトウェア更新通知あり
- : ソフトウェア更新ダウンロード中
- : ソフトウェア更新ダウンロード完了
- : 着信中／発信中／通話中
- : 通話保留中
- : 不在着信あり
- : 伝言メモあり
- : 留守番電話あり
- : カレンダーの予定通知あり
- : ストップウォッチ計測中
- : タイマー使用中
- : アラーム鳴動中
- : 楽曲をWalkman®で再生中
- : FMラジオ使用中
- : USB接続中
- : MHL接続中
- : スクリーンミラーリング接続中
- : モバイルデータ通信無効
- : Wi-Fiオープンネットワーク利用可能
- : VPN接続中
- : メディアサーバーとして設定中／接続要求通知あり
-   : エラーメッセージ／注意メッセージ
- : 同期に問題あり
- : 表示しきれていない通知あり
- : USBテザリング設定中
- : Wi-Fiテザリング設定中
- : Bluetoothテザリング設定中
- : 2つ以上のテザリングを設定中
- : メモリーの空き容量低下
- : microSDカードへのデータ転送の通知あり (内部ストレージの空き容量低下)

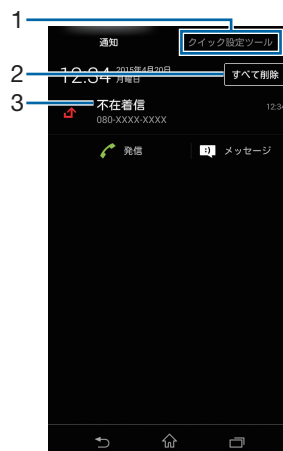
お知らせ

- アイコンによっては、ホーム画面などの別の画面に切り替えると表示されます。

通知パネル

ステータスバーに通知アイコンが表示されている場合は、通知パネルを開いて通知内容を確認できます。また、通知パネルを開いて「クイック設定ツール」をタップすると、機能のオン／オフなどを設定できます。

1 ステータスバーを下にドラッグ



1 クイック設定ツール

- 「編集」をタップすると、ツールの数や並び順を変更できます。

設定	設定メニュー（P.57）を表示します。
Wi-Fi	Wi-Fi機能のオン／オフを設定できます。
Bluetooth	Bluetooth機能のオン／オフを設定できます。
位置情報	位置情報のオン／オフを設定できます。
Wi-Fiテザリング	Wi-Fiテザリングのオン／オフを設定できます。
画面の自動回転	本製品の向きに合わせて、自動的に縦画面表示または横画面表示に切り替えるかどうかを設定できます。
画面の明るさ	画面の明るさを調整できます。
サウンド	マナーモード（バイブレーション／ミュート）のオン／オフを設定できます。

2 すべて削除

- 通知パネル内の表示をすべて削除します。通知内容によっては削除できない場合があります。

3 通知内容

🔔お知らせ

- 通知パネルを閉じるには、 をタップします。
- 通知パネル内の通知を左右にフリックすると、一覧から削除できます。
- 通知パネル上でピンチ（P.11）すると、通知内容によっては、「共有」などの操作画面を表示／非表示にできます。
- 2本の指でステータスバーを下にドラッグすると、クイック設定ツールを表示できます。

ホーム画面の見かた



- 1 ステータスバー
- 2 ウィジェット：Google検索
- 3 ウィジェット：What's New
- 4 ウィジェット：Sony時計
- 5 ショートカット（アプリ）
- 6 壁紙
- 7 ホーム画面の現在表示位置
 - ・ホーム画面を左右にフリックすると切り替えられます。
- 8 アプリボタン
 - ・アプリ画面からさまざまな機能を呼び出すことができます。
- 9 キーアイコン

🔔お知らせ

- ・メインのホーム画面を変更するには、変更したいホーム画面に切り替えて、ホーム画面上のアイコンがない部分をロングタッチ▶をタップします。

ホーム画面を追加する

複数のホーム画面を表示できます。

- 1 ホーム画面上のアイコンがない部分をロングタッチ
- 2 ホーム画面を追加したい方向にフリック▶

🔔お知らせ

- ・ホーム画面を削除するには、削除したいホーム画面に切り替えて、ホーム画面上のアイコンがない部分をロングタッチ▶をタップします。

ホーム画面にウィジェットを追加する

- 1 ホーム画面上のアイコンがない部分をロングタッチ
- 2 [ウィジェット] ▶追加したいウィジェットを選択
 - ・設定画面が表示された場合は、画面の指示に従って操作してください。

🔔お知らせ

- ・ウィジェットの表示サイズを変更するには、ウィジェットをロングタッチ▶青色の枠をドラッグします。表示サイズを変更できないウィジェットもあります。
- ・ウィジェットを削除するには、ホーム画面で削除するウィジェットをロングタッチ▶画面上部に表示される「削除」までドラッグします。

ホーム画面にショートカットを追加する

1 ホーム画面上のアイコンがない部分をロングタッチ

2 [アプリ]

3 [ショートカット] または追加したいアプリを選択

- 「ショートカット」を選択した場合は、登録されているショートカットから選択します。
- データ選択画面や設定画面が表示された場合は、画面の指示に従って操作してください。

🔦お知らせ

- ショートカットを削除するには、ホーム画面で削除するショートカットをロングタッチ▶画面上部に表示される「削除」までドラッグします。

ホーム画面にフォルダを追加する

ホーム画面に追加したアプリやショートカットなどをフォルダに入れて管理できます。

1 ホーム画面でアイコンをロングタッチ

2 別のアイコンの上までドラッグ

🔦お知らせ

- フォルダにアイコンを移動するには、ホーム画面で移動したいアイコンをロングタッチ▶フォルダの上までドラッグします。
- フォルダ名を変更するには、フォルダをタップ▶フォルダ名をタップ▶フォルダ名を入力▶[完了] をタップします。
- フォルダを削除するには、ホーム画面で削除したいフォルダをロングタッチ▶画面上部に表示される「削除」までドラッグ▶[削除] をタップします。フォルダ内のアプリやショートカットなども削除されます。

壁紙を変更する

1 ホーム画面上のアイコンがない部分をロングタッチ

2 [壁紙] ▶設定したい画像をタップ

テーマを変更する

ホーム画面やロック画面の壁紙などのテーマを変更できます。

1 ホーム画面上のアイコンがない部分をロングタッチ

2 [テーマ] ▶設定したいテーマをタップ

3 [テーマを設定] ▶ [OK]

シンプルホーム

シンプルホームを設定すると、基本的な機能に限定したホーム画面や設定メニューを利用できます。

1 ホーム画面で  ▶ **【設定】**

2 **【ホーム】 ▶ 【シンプルホーム】 ▶ 【OK】**

短縮機能を利用する

よく電話やメールをする連絡先を「短縮1」「短縮2」「短縮3」に登録しておくと、簡単に電話をかけたり、メールを送信したりできます。

連絡先を登録する

あらかじめ「連絡先」アプリに電話番号やメールアドレスを登録してください。

1 シンプルホーム画面で **【短縮1】 / 【短縮2】 / 【短縮3】 のいずれかをタップ ▶ 【OK】**

2 **登録する連絡先を選択**

- ・シンプルホーム画面の「短縮1」などの名称は、「連絡先」アプリに登録されている名前に変更されます。

電話をかける

1 シンプルホーム画面で短縮の連絡先を選択 ▶ **【電話をかける】**

- ・通話中の操作について→P.31

メッセージ（SMS） / メールを送信する

1 シンプルホーム画面で短縮の連絡先を選択 ▶ **【メッセージを送る】 / 【メールを送る】**

- ・メッセージ（SMS）の送信方法について→P.36
- ・Eメールの送信方法について→P.38
- ・Gmailの送信方法について→P.40

※お知らせ

- ・短縮に登録した連絡先を変更／解除／編集する場合は、短縮の連絡先を選択 ▶ **【メニュー】 ▶ 【登録先を変更】 / 【登録先を解除】 / 【登録先を編集】 のいずれかをタップ**します。

シンプル設定を利用する

1 シンプルホーム画面で **【シンプル設定】**

プロフィール	自分の電話番号やメールアドレスなどを確認できます。
画面設定	画面に関する設定をします。
音設定	マナーモードや着信音を設定します。
その他の設定	省電力設定、ロック画面設定のほか、標準の設定メニューを表示します。
ホーム切替	標準のホーム画面に切り替えます。

マイセレクトにアプリを登録する

「マイセレクト」フォルダに使用頻度の高いアプリなどを登録しておくことで、簡単に起動できます。

1 シンプルホーム画面で【マイセレクト】 ▶ 【編集】 ▶ 【OK】

2 登録するアプリにチェックを入れる ▶ 【完了】

🔔お知らせ

- 「マイセレクト」フォルダに登録したアプリを削除するには、手順2で削除したいアプリのチェックを外す ▶ 【完了】 をタップします。

シンプルホーム画面のアプリを変更する

1 シンプルホーム画面で【シンプル設定】 ▶ 【画面設定】 ▶ 【ホームカスタマイズ】

2 【アプリの変更】 / 【アプリの並べ替え】

3 変更したいアプリを選択 ▶ 表示したいアプリを選択 / 移動先を選択

4 【OK】

🔔お知らせ

- 手順2で【初期化】 ▶ 【OK】 をタップすると、お買い上げ時の状態に戻します。ただし、「マイセレクト」フォルダに登録したアプリは初期化されません。

標準のホーム画面に切り替える

1 シンプルホーム画面で【シンプル設定】 ▶ 【ホーム切替】 ▶ 【OK】

2 ホームアプリを選択 ▶ 【常時】 / 【今回のみ】

アプリ画面

1 ホーム画面で



1 アプリ画面の現在表示位置

- アプリ画面を左右にフリックすると切り替えられます。

2 オプションメニュー表示

- アプリ画面の左端を右にフリックするとオプションメニューを表示します。

3 アプリアイコン一覧

- 未読メールなどの件数が数字で表示されるアイコンがあります。

🔔お知らせ

- 一番左のアプリ画面では、画面の左端以外を右にフリックしてもオプションメニューを表示できます。

アプリ一覧

アプリ画面に表示されるアプリは次のとおりです。

- 一部のアプリの使用には、別途お申し込み（有料）やダウンロードが必要となるものがあります。

Chrome

インターネットに接続します。→P.40

Playストア

新しいアプリのダウンロード・購入ができます。→P.41

メッセージ

メッセージ（SMS）を送受信します。→P.36

電話

電話の発信／着信を行います。→P.30

Walkman

音楽などを再生します。→P.53

アルバム

静止画／動画などを再生します。→P.51

ムービー

Video Unlimitedで本製品にダウンロードした作品や、PCなどから転送した動画を再生できます。Wi-Fi機能を利用してDLNA機器の動画を再生したり、「ワイヤレスおでかけ転送」機能に対応したブルーレイディスクレコーダーで録画した番組などを本製品で再生できます。→P.52

PlayStation

PlayStation Networkアカウントにログインして、各サービスを利用できます。

What's New

最新の音楽、映画、アプリ、ゲームを楽しむことができます。

Lifelog

ユーザーの身体的な活動のほか、本製品の利用履歴も記録して時系列で確認できるアプリです。

カメラ

静止画を撮影、動画を録画します。→P.44

Facebook

「Facebook」を利用できます。

ニュース from Socialife

FacebookやTwitterなどのSNS、お気に入りのニュースサイトなどをまとめて閲覧・管理できます。

YouTube

動画を再生したり、録画した動画をアップロードしたりできます。→P.53

Eメール

Eメールを送受信します。→P.38

カレンダー

予定の管理をします。→P.55

連絡先

友人や同僚の連絡先を管理します。→P.34

設定

本製品の各種設定を行います。→P.57

アラームと時計

アラームや世界時計、ストップウォッチ、タイマーを利用できます。→P.56

ツール

フォルダ内に「電卓」「ダウンロード」アプリが格納されています。

マップ

現在地の表示／他の場所の検索／経路の検索などが行えます。→P.54

Video Unlimited

お気に入りの映像作品をダウンロードして、どこでも視聴できるサービス「Video Unlimited（ビデオアンリミテッド）」へ接続します。

FMラジオ

FMラジオを利用できます。→P.43

TrackID™

楽曲認識サービスを利用できます。

スマートコネクト

外部機器接続時やアプリの起動／停止時などの動作を設定します。

Gmail

Gmailを利用できます。→P.40

Google+

Googleが提供するSNSのクライアントアプリであるGoogle+を起動します。

写真

写真や動画を閲覧できます。Google+にログインして、バックアップすることもできます。

Google

本製品内やウェブ上の検索を行います。→P.24

音声検索

Google 音声検索を利用できます。→P.24

ハングアウト

写真や絵文字、動画などを使ってチャットができます。

ニュースと天気

位置情報をもとにした天気予報、ニュースなどの各種情報がチェックできます。

Playムービー&TV

Google Playの映画をレンタルしたり、本製品に保存した動画を再生したりすることができます。

Playブックス

ダウンロードした書籍や雑誌などを読むことができます。

Diagnostics

テストを実行して、本製品の状態の目安や機器情報を確認できます。→P.71

File Commander

静止画、動画、音楽データ、ダウンロードしたファイルなどを探すことができます。→P.73

Xperia™ Lounge Japan

ソニーモバイルコミュニケーションズの製品やキャンペーン情報などを紹介するスマートフォン向けサイトです。

更新センター

最新のソフトウェアやアプリを取得することができます。→P.88

Play ゲーム

Google Playからゲームをダウンロードすることができます。

TV SideView

テレビ番組表を見たり、本製品をソニー製テレビなどのリモコンとして利用します。

Google設定

Googleアプリに関する設定をします。

AntiVirus

スマートフォンのセキュリティ保護やパフォーマンスの向上などを行います。

OfficeSuite

Officeドキュメントなどを閲覧・編集できます。

取扱説明書

本製品の取扱説明書（ヘルプガイド）を確認できます。

Movie Creator

カメラで撮影した写真や動画から自動的に短いフォトムービーを作成したり、作成したフォトムービーを編集したりできます。

スポットリスト

連絡先にあるレストランなどの電話番号に、写真や地図などのスポット情報を追加します。

電子書籍 Reader by Sony

ソニーのeBookストア「Reader Store」から書籍を購入できます。初めてご利用になるときは、画面の指示に従ってダウンロードする必要があります。



おサイフケータイ

おサイフケータイを利用できます。→P.42



スケッチ

イラストを作成したり、写真を読み込んで加工することができます。



Twitter

Twitterの公式クライアントアプリです。サイト上に短いメッセージを公開して、他の人とコミュニケーションをとることができます。



ドライブ

Googleドライブに保存したファイルを閲覧・編集できます。



Audio Recorder

音声や音楽などを高音質で録音できます。



My Sonyアプリ

ソニーポイントのご利用や製品のサポートなどの特典・サービスが受けられるアプリです。

お知らせ

- アプリによっては、ダウンロードとインストールが必要になるものがあります。アプリをダウンロードできない場合は、「セキュリティ」からダウンロードを許可するように設定します(P.65)。
- 複数のアプリを起動していると、電池の消費量が増えて使用時間が短くなることがあるため、使用しないアプリは終了することをおすすめします。アプリを終了するには、使用中のアプリの画面で  をタップします。

アプリをホーム画面に追加する

アプリのショートカットをホーム画面に追加できます。

1 アプリ画面で、ホーム画面に追加したいアプリアイコンをロングタッチ

- フォルダ内のアプリアイコンは、フォルダの外までドラッグします。

2 画面上部に表示される「ホーム画面に追加」までドラッグ

- ホーム画面が表示されます。

3 ショートカットを置く場所までドラッグ

アプリを削除（アンインストール）する

- 削除する前に、アプリ内に保存されているデータも含めて、そのアプリに関連する保存しておきたいコンテンツをすべてバックアップしておいてください。
- アプリによっては、削除できない場合があります。

1 アプリ画面で画面の左端を右にフリック

2 [アンインストール] ▶ のついたアプリアイコンをタップ

3 [アンインストール]

アプリ画面にフォルダを追加する

アプリ画面のオプションメニュー (P.19) で「カスタム並べ替え」に設定しているときに、アプリ画面に表示されるアプリアイコンをフォルダに入れて管理できます。

1 アプリ画面でアプリアイコンをロングタッチ

2 別のアイコンの上までドラッグ

🔔お知らせ

- フォルダにアプリアイコンを移動するには、アプリ画面で移動したいアイコンをロングタッチ▶フォルダの上までドラッグします。
- フォルダ内のアプリアイコンをフォルダから出すには、フォルダをタップ▶アプリアイコンをロングタッチ▶アプリアイコンを置く場所までドラッグします。
- フォルダ名を変更するには、フォルダをタップ▶フォルダ名をタップ▶フォルダ名を入力▶[完了] をタップします。

アプリアイコンを並べ替える

アプリ画面のオプションメニュー（P.19）で「カスタム並べ替え」に設定しているときに、アプリ画面に表示されるアイコンを任意の場所に並べ替えることができます。

1 アプリ画面でアプリアイコンをロングタッチ▶任意の場所までドラッグ

🔔お知らせ

- アプリアイコンの並べ替え中に、一番右のアプリ画面の右端までアイコンをドラッグすると、アプリ画面を追加できます。
- 「アルファベット順」「よく使うアプリ順」「インストール済み」を設定すると自動的に並べ替えられます。

タスクマネージャー

使用中のアプリを切り替えたり、終了したりすることができます。

最近使用したアプリのウィンドウを開く

最近使用したアプリをサムネイルで一覧表示し、起動できます。

1

🔔お知らせ

- アプリを起動するには、サムネイル表示されたアプリをタップします。
- アプリをサムネイルの一覧から削除するには、サムネイル表示されたアプリを左右（縦画面表示）／上下（横画面表示）にフリックします。
- アプリをすべて終了し、サムネイルの一覧から削除するには、[全アプリ終了] をタップします。
- アプリの情報を確認するには、サムネイル表示されたアプリをロングタッチ▶[アプリ情報] をタップします。

スモールアプリ

アプリを使用しながらスモールアプリ（小画面で表示されるアプリ）を利用できます。

スモールアプリを利用する

1

- スモールアプリが画面下部のお気に入りバーに表示されます。

2 スモールアプリを選択

🔔お知らせ

- 起動中のスモールアプリを閉じるには  をタップします。
- スモールアプリを複数設定している場合は、お気に入りバーを左右にフリックすると表示されます。

スモールアプリを追加する

1 ▶

- ・スモールアプリリストが表示されます。

2 追加したいスモールアプリまたはウィジェットをロングタッチ▶お気に入りバーまでドラッグ

💡お知らせ

- ・スモールアプリリストで  ▶ [Playストア] / [ウィジェット] をタップすると、Google Playから新しいスモールアプリをインストールしたり、ウィジェットをスモールアプリとして追加したりできます。
- ・お気に入りバーからスモールアプリを削除するには、削除したいスモールアプリをロングタッチ▶お気に入りバーの枠外に表示される  までドラッグ▶ [OK] をタップします。
- ・ウィジェットやスモールアプリを削除するには、スモールアプリリストで  ▶ [ウィジェットを削除] / [スモールアプリをアンインストール] ▶削除したいウィジェットやスモールアプリを選択▶ [OK] をタップします。

本製品内のデータやウェブページを検索する

1 ホーム画面でGoogle検索ウィジェット (P.16) をタップ

2 入力欄にキーワードを入力

- ・アプリや検索候補などが一覧表示されます。

3 項目またはソフトウェアキーボードの

- ・アプリを選択した場合は、アプリが起動します。

音声で入力して検索する

1 ホーム画面でGoogle検索ウィジェットの

2 マイクに向かって検索したいキーワードを話す

検索設定

検索ボックスで使用する設定を変更できます。

1 ホーム画面でGoogle検索ウィジェットをタップ

2 画面下の ▶ ▶ [設定]

3 項目を選択

文字を入力する

文字入力、メールの作成などで文字入力欄をタップすると表示されるソフトウェアキーボードを使用します。

🔔お知らせ

- ソフトウェアキーボードが表示されると、ステータスバーにが表示されます。
- ソフトウェアキーボードを非表示にするには、画面下に表示されるをタップします。
- 文字入力画面でテキストをロングタッチすると、拡大されたテキストが表示されます。

POBox Plus 使い方ガイド

本製品の文字入力方法は、あらかじめ日本語入力の「POBox Plus」に設定されています。「POBox Plus 使い方ガイド」では、POBox Plusを詳しく解説しています。

1 文字入力画面でクイックツールバーの ...

- クイックツールバーについて→P.26
- クイックツールバーが表示されていない場合は、をタップします（テンキーで文字種が「英字」「数字」の場合は、／をタップして「ひらがな漢字」に切り替えるとが表示されます）。

2 [使い方ガイド]

入力方法の選択

- ホーム画面で▶【設定】
- 【言語と入力】▶【現在の入力方法】
- 【日本語（POBox Plus）】／【中国語キーボード（中国語キーボード）】／【国際化キーボード（外国語キーボード）】のいずれかをタップ

ソフトウェアキーボード

POBox Plusでは、次のソフトウェアキーボードを使用できます。

- 文字入力のしかたについて→P.26

テンキー	携帯電話と同じ配列のキーボードです。キーを繰り返しタップして文字を選択するトグル入力に加えて、フリック入力もできます。
PCキーボード	一般的なパソコンと同じ配列のキーボードです。日本語はローマ字で入力します。

🔔お知らせ

- ソフトウェアキーボードを使用するほかに、手書き入力や音声入力などで文字を入力することもできます。

ソフトウェアキーボードの切り替えや設定の変更

ツール一覧を表示すると、ソフトウェアキーボードや手書き入力・音声入力の切り替え、プラグインアプリ（拡張機能）の利用、設定の変更などができます。

1 文字入力画面でクイックツールバーの …

- ・クイックツールバーについて→P.26
- ・クイックツールバーが表示されていない場合は、**ツール** をタップします（テンキーで文字種が「英字」「数字」の場合は、**あA1** / **あA1** をタップして「ひらがな漢字」に切り替えると **ツール** が表示されます）。

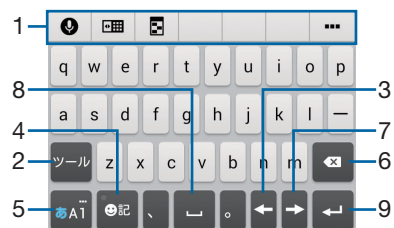
キーボード一覧設定	ソフトウェアキーボード（テンキー／PCキーボード）を文字種ごとに設定します。
PCキーに切り替え／テンキーに切り替え	PCキーボード／テンキーに切り替えます。
片手キーボード	片手で入力できるキーボードサイズに変更します。
ユーザー辞書	→P.29
設定	POBox Plusの設定を変更できます。
キセカエ	ソフトウェアキーボードの外観を変更できます。
使い方ガイド	→P.25
手書き入力	手書き入力に切り替えます。
Google 音声入力	Google 音声入力に切り替えます。
Webからアプリ追加	ウェブサイトからプラグインアプリ（拡張機能）をダウンロードできます。

文字入力のしかた

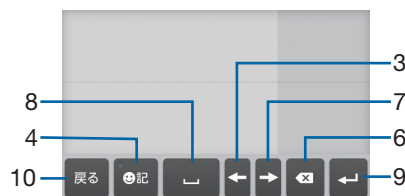
ソフトウェアキーボードでキーをタップすると、入力した文字に対して候補リストが表示されます。候補リストから入力したい語句をタップすると、次々に文章を入力できます。



テンキー



PCキーボード



手書き入力

1 クイックツールバー

よく使う機能のショートカットが表示されます。**…** をタップすると、ツール一覧を表示します（P.26）。

- 2 

クイックツールバーの表示／非表示を切り替えます。



同じキーに割り当てられた文字を通常とは逆の順序で表示します。

 / 

数字入力時に表示され、半角／全角を切り替えます。

 /  / 

英字の小文字／1文字のみ大文字／大文字を切り替えます。
- 3 

カーソルを左へ移動します。
- 4  / 

記号、顔文字などの一覧の表示／非表示を切り替えます。

 /  / 

ひらがな漢字入力時の変換確定前に表示され、予測候補リスト／変換候補リスト／英数字・カタカナの変換候補リストを切り替えます。
- 5  /  / 

「ひらがな漢字」→「英字」→「数字」の順に文字種を切り替えます。

 /  /  ロングタッチ

ツール一覧を表示します（P.26）。
- 6 

カーソル位置の前の文字を削除します。
- 7 

カーソルを右へ移動します。

未確定文字列があり、かつカーソルが右端にある状態でタップすると、最後尾と同一文字を入力します（手書き入力を除く）。
- 8 

スペースを入力します。



ひらがな漢字入力時に、候補リスト内の語句をハイライト表示して選択します。
- 9 

改行します。



変換確定前に表示され、文字を確定します。

 - ・一部の画面では、 や「次へ」「完了」「実行」などが表示されます。
- 10 

テンキー／PCキーボードに戻ります。

🔦お知らせ

- ・変換確定後に変換前の表示に戻すには、つながり予測候補などに表示される  をタップします（手書き入力を除く）。
- ・候補リスト内の  をタップすると、表示領域が拡大されます。ソフトウェアキーボードを表示させるには、 または「閉じる」をタップします。
- ・手書き入力では、入力した文字の左上のアイコンをタップすると、入力文字に対する候補が表示されます。水色の文字が認識されている文字になり、候補リストの下に文字の種類別に色分けで表示されます。
- ・手書き入力では、次の操作ができます。
 - 2文字以上を入力した後に左上のアイコンをタップすると、 が表示されます。 をタップすると、入力した2文字を1つの文字に結合できます。
 - 文字入力時に  をタップすると、入力した文字を削除できます。
- ・手書き入力では、次の点に注意してください。
 - 濁点や半濁点は入力画面の中央より上側に入力
 - 句読点や小文字は入力画面の中央より下側に入力

テンキーの入力方法

フリック入力

上下左右にフリックして各行の文字を入力します。

例：「な」行を入力する場合

「な」はタップするだけで入力できます。「に」は左、「ぬ」は上、「ね」は右、「の」は下にそれぞれフリックして入力できます。



トグル入力

同じキーを連続してタップし、割り当てられた文字を入力します。

同じキーに配列された文字を続けて入力する場合は、タップしたキーの色が戻るのを待ってから（約1秒）、次の文字を入力します（すぐに次の文字を入力したい場合は、 をタップするとカーソルを移動できます）。キーの色が戻っている状態で  をタップすると、直前に入力した文字と同じ文字が入力されます。

例：「あお」と入力する場合

1「あ」を1回タップ▶（キーの色が戻るまで）約1秒待つ

2「あ」を5回タップ

または

1「あ」を1回タップ▶（すぐに）

2「あ」を5回タップ

テキストの編集

文字入力中に編集したい文字をダブルタップしたり、ウェブページなどでコピーしたいテキストをロングタッチすると、画面上部にテキストの編集メニューが表示され、文字のコピーや切り取りなどの操作が行えます。

1 編集したい文字をダブルタップ／ロングタッチ

-  または  をドラッグすると、選択する文字列を変更できます。

2 画面上部に表示されるメニューから選択

 （すべて選択）	テキストをすべて選択します。
 （切り取り）	選択した文字列を切り取ります。
 （コピー）	選択した文字列をコピーします。
 （貼り付け）	コピーまたは切り取った文字列を貼り付けます。
 （終了）	編集メニューを終了します。

🔔お知らせ

- コピーまたは切り取った文字列を貼り付けるには、挿入したい位置でロングタッチ▶「貼り付け」をタップします。テキストが入力されている場合は、挿入したい位置でタップ▶▶「貼り付け」をタップします。
- 編集メニューのアイコンはアプリにより異なります。
- 横画面ではテキストの編集メニューが表示されない場合があります。
- アプリによっては、本機能を利用できない場合があります。

ユーザー辞書

あらかじめ辞書の登録をしておくと、文字入力時の候補リストに優先的に表示されます。

1 文字入力画面でクイックツールバーの ...

- クイックツールバーが表示されていない場合は、 をタップします（テンキーで文字種が「英字」「数字」の場合は、 /  をタップして「ひらがな漢字」に切り替えると  が表示されます）。

2 【ユーザー辞書】

3

4 「読み」の文字入力欄をタップ▶入力

5 「語句」の文字入力欄をタップ▶入力

6 【OK】

💡お知らせ

- 削除する場合は、手順3で削除したいユーザー辞書にチェックを入れる▶▶【削除】をタップします。

文字入力の設定

入力方法ごとに、文字入力の各種設定を行うことができます。

1 ホーム画面で ▶【設定】▶【言語と入力】

2 「外国語キーボード」／「中国語キーボード」／「POBox Plus」／「Google 音声入力」の

- 表示される画面の項目をタップして設定してください。

💡お知らせ

- 設定できる項目は、入力方法により異なります。
- 文字入力中にステータスバーを下にドラッグ▶【入力方法の選択】▶【入力方法の設定】▶各入力方法の  をタップしても設定画面が表示されます。
- POBox Plusで文字を入力している場合は、文字入力画面でクイックツールバーの ▶【設定】をタップしても、POBox Plusの設定画面が表示されます。

電話

電話をかける

1 ホーム画面で 「発信」 タブをタップ

2 電話番号を入力▶

-  をタップすると、入力した番号を削除できます。

3 通話が終了したら【通話終了】

🔔お知らせ

- 電話番号入力画面上部には、通話履歴が表示されます。通話履歴をタップすると、選択した電話番号に発信します。

緊急通報位置通知について

本製品から緊急通報（110番・119番・118番）を行うと、お客様が発信した際の位置情報が緊急通報受理機関（警察・消防機関・海上保安本部）に通知されます。

- お客様の発信場所や電波の受信状況によっては、正確な位置が通知されないことがあります。必ず口頭で、緊急通報受理機関へお客様の発信場所や目的をお伝えください。
- 「184」を付けて発信するなど、発信者番号を非通知にして緊急通報を行ったときは、位置情報は通知されません。ただし、人命などに差し迫った危険があると判断したときは、緊急通報受理機関がお客様の位置情報を取得することがあります。

国際電話をかける

- 国際電話を利用するにはお申し込みが必要です。
- 「+」を国際電話アクセス番号に置き換えて発信します。

1 ホーム画面で 「発信」 タブをタップ

2 +（[0] をロングタッチ）▶ 国番号、地域番号（市外局番）、相手先電話番号の順に入力▶

3 通話が終了したら【通話終了】

🔔お知らせ

- 地域番号（市外局番）が「0」で始まる場合には、先頭の「0」を除いて入力してください。ただし、イタリアなど一部の国・地域におかけになるときは「0」が必要な場合があります。

電話を受ける

画面ロック設定中でも、電話を受けることができます。

1 着信時に （左）を （右）にドラッグ

2 通話が終了したら【通話終了】

🔔お知らせ

- 着信音や着信時バイブレーションを消すには、着信時に音量キーまたは  を押します。
- 電話に出なかったときは、ステータスバーに  が表示されます。ステータスバーを下にドラッグすると、不在着信を確認できます。

着信に伝言メモで応答する

伝言メモを設定していなくても、手動で起動できます。

1 着信時に を上にドラッグ

2 【伝言メモを起動】

🔔お知らせ

- ・伝言メモが録音されると、ステータスバーにが表示されます。ステータスバーを下にドラッグ▶「伝言メモ」をタップすると、伝言メモリスト画面が表示され、録音された伝言メモを確認できます。

着信を拒否する

1 着信時に (右) を (左) にドラッグ

着信を拒否してメッセージ (SMS) を送信する

電話に出られない場合などに、着信を拒否してメッセージ (SMS) を送信します。

- ・メッセージはあらかじめ登録されています。必要に応じて編集することもできます (P.33)。

1 着信時に を上にドラッグ

2 [拒否してメッセージ送信]

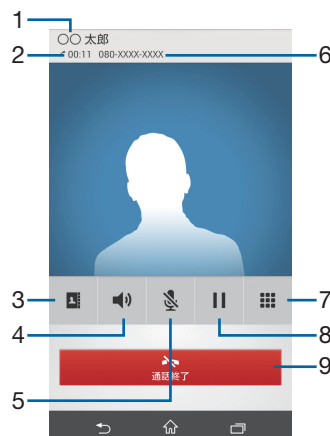
3 送信したいメッセージをタップ

- ・[新規メッセージ作成] をタップすると、メッセージを作成して送信できます。

通話中の操作

通話中画面でスピーカーの設定をしたり、電話番号を入力して別の相手に電話をかけたりすることができます。

通話中画面



- 1 通話相手の名前
- 2 通話時間
- 3 連絡先を表示
- 4 スピーカーフォンのオン／オフ
通話相手の声をスピーカーから流して、ハンズフリーで通話できます。
- 5 送話口 (マイク) の消音のオン／オフ
- 6 通話相手の電話番号
- 7 ダイヤルパッドを表示
- 8 保留／保留解除
- 9 通話終了

! 注意

- ・聴力を損なわないために、スピーカーフォンがオンになっている状態で本製品を耳に当てないでください。

通話音量を調節する

1 通話中に音量キーを押す

通話履歴を表示する

通話履歴は電話番号入力画面上部に表示されます。

1 ホーム画面で 「発信」 タブをタップ

電話番号入力画面



- 1 通話相手の名前
- 2 通話相手の電話番号
- 3 履歴アイコン

 : 発信

 : 着信

 : 不在着信

 (赤色) : 新規の伝言メモ

 (緑色) : 確認済みの伝言メモ

同じ連絡先に対して連続した履歴がある場合は、履歴の件数が表示されます。

- 4 伝言メモの再生/停止
- 5 通話履歴詳細画面を表示

お知らせ

- 電話番号入力画面で  「通話履歴フィルター」をタップすると、表示する通話履歴の種類を選択できます。
- 電話番号入力画面で通話履歴をロングタッチすると、メッセージ（SMS）送信や連絡先登録、通話履歴削除などの操作ができます。

伝言メモを設定する

伝言メモを設定すると、電話に応答できないときに応答メッセージを再生し、相手の音声を録音できます。

- 1件あたりの最大録音時間は約60秒です。

1 ホーム画面で 「設定」

2 「通話設定」 ▶ 「伝言メモ」 ▶ 「OK」

- 表示される画面の項目をタップして設定してください。

伝言メモ	伝言メモを利用するかどうかを設定します。
応答時間設定	応答するまでの時間を設定します。
ローミング時の使用	海外渡航時に伝言メモを利用するかどうかを設定します。
応答メッセージ	応答メッセージを録音します。
伝言メモリスト	録音された伝言メモを確認できます。

通話設定

1 ホーム画面で [設定]

2 [通話設定]

・表示される画面の項目をタップして設定してください。

着信音	着信音を設定します。
着信時バイブレーション	着信時に、本製品を振動させるかどうかを設定します。
ステップアップ音量	着信音を段階的に大きくするかどうかを設定します。
留守番電話	電波の届かない場所にいたり、本製品の電源を切っている場合などに、電話をかけてきた相手のメッセージをお預かりするサービスを設定します。 ・留守番電話を利用するにはお申し込みが必要です。
ダイヤルパッド操作音	ダイヤルパッドを操作したときの音を鳴らすかどうかを設定します。
伝言メモ	→P.32
応答拒否メッセージ	着信を拒否してメッセージ（SMS）を送信するときのメッセージを編集します。
発信番号制限	本機能は利用できません。（契約している通信事業者によっては、利用できる場合があります。）
TTYモード	TTYモードを設定します。
補聴機能	補聴機能を有効にするかどうかを設定します。
着信転送	本機能は利用できません。（契約している通信事業者によっては、利用できる場合があります。）
通話制限	本機能は利用できません。（契約している通信事業者によっては、利用できる場合があります。）
その他の設定	発信者番号 ：電話をかけたときに、相手の電話機のディスプレイへお客様の電話番号を通知するかどうかを設定します。 通話中着信 ：本機能は利用できません。（契約している通信事業者によっては、利用できる場合があります。）
マイクのノイズ抑制	通話中に相手が会話の内容を聞き取りやすくなるようにするかどうかを設定します。
通話音質設定	通話中の音質を調整します。
スピーカー音拡張設定	通話中の音声を聞き取りやすくするかどうかを設定します。
ゆっくりモード	相手の通話速度を下げ、ゆっくり聞こえるようにするかどうかを設定します。
アカウント	インターネット通話（SIP）アカウントの設定をします。
通話方法	インターネット通話（SIP）の通話方法を設定します。

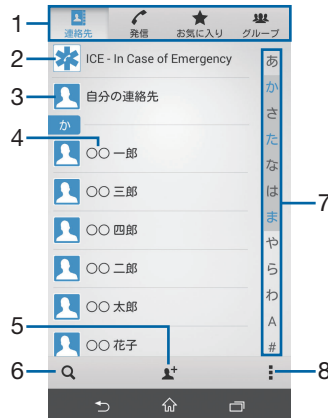
連絡先

電話番号やメールアドレスなどの連絡先に関するさまざまな情報を入力できます。

連絡先を表示する

1 ホーム画面で ► [連絡先]

連絡先一覧画面



- 1 画面切り替えタブ
- 2 ICE 情報
緊急時のための医療情報や、身内などの連絡先を登録できます。
- 3 自分の連絡先
- 4 連絡先に登録された名前
- 5 新しい連絡先の追加アイコン
- 6 検索アイコン
- 7 検索バー
名前を五十音順、アルファベット順などで検索します。
- 8 オプションメニュー

連絡先を登録する

1 ホーム画面で ► [連絡先]

2

3 [Google] / [バックアップしない]

- Google アカウントを設定していない場合は、[本体に保存] をタップするか、[アカウントを追加] をタップし、画面の指示に従ってアカウントを追加してください。

4 必要な項目を入力 ► [完了]

連絡先をグループに設定する

1 ホーム画面で ► [連絡先]

2 グループ設定する連絡先を選択 ►

3 「グループ名」欄をタップ ► 設定するグループにチェックを入れる ► ► [完了]

連絡先のグループを新規作成する

1 ホーム画面で  ▶ **【連絡先】 ▶ 「グループ」 タブをタップ**

2 

3 **【本体グループ】 / 【Google】**

- Google アカウントを設定していない場合は、「本体グループ」に保存されます。

4 **グループ名を入力 ▶ 【完了】**

5  ▶ **追加する連絡先にチェックを入れる ▶ 【完了】**

🔔お知らせ

- グループを編集／削除するには、手順2でグループを選択 ▶  をタップします。お買い上げ時に登録されているグループは削除できません。

連絡先を編集する

1 ホーム画面で  ▶ **【連絡先】**

2 **編集する連絡先を選択 ▶ **

3 **必要な項目を選択して編集 ▶ 【完了】**

🔔お知らせ

- Facebook アカウントの連絡先は編集できません。

連絡先をお気に入り登録する

お気に入り登録すると、連絡先にすぐにアクセスできます。

1 ホーム画面で  ▶ **【連絡先】**

2 **登録する連絡先を選択**

3 

- お気に入りを解除する場合は  をタップしてください。

自分の連絡先の情報を編集する

1 ホーム画面で  ▶ **【連絡先】**

2 **【自分の連絡先】 ▶ **

3 **必要な項目を選択して編集 ▶ 【完了】**

連絡先をエクスポート／インポートする

microSD カードへ連絡先をエクスポート／インポートできます。

- あらかじめ microSD カードを取り付けてください。

1 ホーム画面で  ▶ **【連絡先】**

2 

3 **【連絡先エクスポート】 / 【連絡先インポート】**

4 **エクスポート先／インポート先を選択**

- 以降は画面の指示に従って操作してください。

メッセージ (SMS)

携帯電話番号を宛先にしてテキストメッセージを送受信できます。

メッセージ (SMS) を送信する

1 ホーム画面で ► [メッセージ]

2

3 送信相手の電話番号を入力

- ・  ► [宛先を追加] をタップすると、登録されている連絡先から選択できます。

4 [メッセージを作成] ► 本文を入力

- ・  ► [テンプレート選択] をタップすると、定型文を選択して入力できます。
- ・ 入力した文字数が制限文字数に近づくと、入力できる残り文字数がテキストボックスの右側に表示されます。

5 [送信]

🔔お知らせ

- ・ 標準のメッセージアプリをハングアウトに切り替えることができます。
ホーム画面で  ► [設定] ► [その他の設定] ► [標準のメッセージアプリ] ► [ハングアウト] をタップします。
- ・ 海外通信事業者との間の送受信については、契約している通信事業者にご確認ください。

メッセージ (SMS) を読む

送受信したメッセージ (SMS) は、宛先／送信者ごとにスレッド表示されます。

1 ホーム画面で ► [メッセージ]

- ・ 未読のメッセージ (SMS) がある送信者は太字で表示されます。

2 読みたいメッセージ (SMS) の送信者を選択

🔔お知らせ

- ・ メッセージ (SMS) を受信すると、ステータスバーに  が表示されます。ステータスバーを下にドラッグすると、受信したメッセージ (SMS) を確認できます。

メッセージ (SMS) の電話番号を連絡先に登録する

1 ホーム画面で ► [メッセージ]

2 保存する電話番号の ► [保存]

3 [連絡先を新規登録]

- ・ 既存の連絡先に追加する場合は、連絡先を選択します。

4 バックアップ先アカウントを選択

- ・ Google アカウントを設定していない場合は、本製品のみに保存されます。

5 必要な項目を入力 ► [完了]

メッセージ (SMS) 本文を削除する

1 ホーム画面で ► [メッセージ]

2 削除するメッセージ (SMS) の送受信者を選択

3 削除するメッセージ (SMS) 本文をロングタッチ

4 [メッセージを削除] ► [削除]

メッセージ（SMS）を送受信者ごとに削除する

- 1 ホーム画面で  ► [メッセージ]
- 2 削除する送受信者をロングタッチ
- 3  ► [削除]

メッセージ（SMS）の設定を変更する

- 1 ホーム画面で  ► [メッセージ]
- 2  ► [設定]
 - ・表示される画面の項目をタップして設定してください。

通知音	受信時の通知音を設定します。
通知	新着メッセージ（SMS）の通知をステータスバーに表示するかどうかを設定します。
通知バイブレーション	受信時に振動でお知らせするかどうかを設定します。
通知ライト	バックライト消灯時に受信した際、通知LEDでお知らせするかどうかを設定します。
配信確認レポート	送信相手が受信した際に、自分の送ったメッセージ（SMS）にチェックを付けるかどうかを設定します。
メッセージテンプレート	本文入力時に挿入できる定型文を登録・編集します。
SIMメッセージ	SIMカードに保存したメッセージ（SMS）を管理します。
プッシュ設定	プロバイダから送信されるメッセージ（SMS）を設定します。
SMSセンター番号	SMSセンターの番号を確認します。

お知らせ

- ・「通知バイブレーション」をオンにしても、マナーモード（ミュート）に設定中はメッセージ（SMS）を受信しても振動しません。

Eメール

一般のISP（プロバイダ）が提供するEメールアカウント、Exchange ActiveSyncアカウントなどを設定して、Eメールを送受信できます。
複数のEメールアカウントを設定することもできます。

Eメールの初期設定をする

Eメールアカウントを設定します。

1 ホーム画面で

- 2件目以降のEメールアカウントを設定する場合は、ホーム画面で▶▶ [設定] ▶ [アカウントを追加] をタップします。

2 Eメールアドレスとパスワードを入力

3 [次へ]

- 以降は画面の指示に従って操作してください。

💡お知らせ

- 設定を手動で入力する必要がある場合は、Eメールサービスプロバイダまたはシステム管理者に、正しいEメールアカウント設定を問い合わせてください。
- EメールアカウントにExchange ActiveSyncアカウントを設定した場合、サーバー管理者がリモートワイプ（遠隔消去）を設定していると、本製品内のデータが消去されることがあります。

Eメールを送信する

1 ホーム画面で

2 (作成)

3 送信相手のEメールアドレスを入力

-  をタップすると、登録されている連絡先から選択できます。
- 複数のEメールアドレスを文字で直接入力する場合は、カンマ (,) で区切って追加します。
- CcまたはBccを追加する場合は、▶ [Cc/Bccを表示] をタップします。

4 件名や本文を入力

5 [送信]

💡お知らせ

- Eメールは、パソコンからのメールとして扱われます。受信する端末でパソコンからのEメール受信を拒否する設定を行っている場合、Eメールを受信できません。

Eメールを受信する

1 ホーム画面で

- 複数のEメールアカウントを設定している場合は、[受信トレイ] ▶ 受信するEメールアカウントをタップします。

2 受信トレイで  **▶ [更新]**

3 読みたいEメールをタップ

メール本文のプレビューを表示する

1 ホーム画面で 

2  **▶ [設定] ▶ [全般] ▶ [プレビュー表示]**

3 プレビュー表示する画面にチェックを入れる▶ [OK]

💡お知らせ

- 複数のアカウントを登録している場合、いずれかのアカウントで変更するとすべてのアカウントが同じ表示方法に変更されます。

Eメールの添付ファイルを保存する

1 ホーム画面で 

2 添付ファイル付きのEメールをタップ

- 添付ファイルがダウンロードされていない場合は、[読込] をタップします。

3 保存するファイルの [保存]

- 添付ファイルは内部ストレージに保存されます。

Eメールを返信／転送する

1 ホーム画面で 

2 返信または転送するEメールをタップ▶ [返信] / [全員に返信] / [転送]のいずれかをタップ

- [転送] をタップした場合は、転送先のEメールアドレスを入力します。

3 本文を入力

4 [送信]

💡お知らせ

- Eメールを転送すると、元のEメールの添付ファイルが添付されます。添付ファイルを削除するには、 をタップします。

Eメールを削除する

1 ホーム画面で 

2 削除するEメールをタップ

3  **▶ [削除]**

Eメールアカウントの設定を変更する

1 ホーム画面で 

2  **▶ [設定]**

3 設定を変更するEメールアカウントをタップ▶Eメールアカウントの設定操作を行う

💡お知らせ

- 通知設定の「バイブレーション」をオンにしても、マナーモード（ミュート）に設定中はEメールを受信しても振動しません。

Gmail

Gmailを使用してEメールを送受信できます。

- Gmailについて詳しくは、ホーム画面で  ► [Gmail] ► 画面の左端を右にフリック ► [ヘルプ] をタップしてGmailのヘルプをご覧ください。

Gmailを送信する

- 1 ホーム画面で  ► [Gmail]
- 2  (新規作成)
- 3 送信相手のEメールアドレスを入力
 - CcまたはBccを追加する場合は、 ► [CC／BCCを追加] をタップします。
- 4 件名や本文を入力
- 5  (送信)

Gmailを受信する

- 1 ホーム画面で  ► [Gmail]
- 2  ► [更新]
- 3 読みたいEメールをタップ

Google Chrome

Google Chromeを利用し、ウェブページを閲覧できます。

- Google Chromeについて詳しくは、ホーム画面で  ► [Chrome] ►  ► [ヘルプとフィードバック] をタップしてGoogle Chromeのヘルプをご覧ください。

ウェブページを表示する

- 1 ホーム画面で  ► [Chrome]
 - 確認画面が表示された場合は、画面の指示に従って操作してください。
- 2 画面上部のウェブページのアドレス入力欄をタップ
- 3 ウェブページのアドレスまたは検索する語句を入力
 - アドレスや文字の入力に従って、一致するウェブページの候補が表示されます。
- 4 表示された候補またはソフトウェアキーボードの [実行]

ウェブページをブックマークする

- 1 ホーム画面で  ► [Chrome] ► ブックマークするウェブページを表示
- 2  ► ☆
- 3 名前や保存先フォルダを設定 ► [保存]

ブックマークを開く

- 1 ホーム画面で  ► [Chrome] ►  ► [ブックマーク]
- 2 開くブックマークをタップ

🔔お知らせ

- 手順2でブックマークをロングタッチすると、ブックマークの編集や削除などができます。

履歴を確認する

1 ホーム画面で ► [Chrome] ► ► [履歴]

💡お知らせ

- 履歴を削除するには、履歴の一覧画面で削除したい履歴の  をタップします。
- 履歴をすべて削除するには、履歴の一覧画面で [閲覧履歴データの消去] ► 「閲覧履歴の消去」にチェックを入れる ► [クリア] をタップします。

Google Chromeの設定を変更する

検索エンジンやプライバシーなどの設定をします。

1 ホーム画面で ► [Chrome] ► ► [設定]

2 変更する項目を選択

Google Play

Google Playを利用するとアプリやゲームなどをダウンロード、インストールできます。

- Google Playを利用するには、Googleアカウントの設定が必要となります。
- Google Playについて詳しくは、ホーム画面で  ► 画面の左端を右にフリック ► [ヘルプとフィードバック] をタップしてGoogle Playのヘルプをご覧ください。

アプリをインストールする

1 ホーム画面で

2 アプリを検索 ► インストールするアプリをタップ

- 表示内容をよくご確認の上、画面の指示に従って操作してください。

アプリを削除（アンインストール）する

1 ホーム画面で

2 画面の左端を右にフリック ► [マイアプリ]

3 削除するアプリをタップ ► [アンインストール] ► [OK]

- 有料アプリを削除する場合は、払い戻し画面が表示されることがあります。

Google Play利用上のご注意

- 多くの機能または大量のデータにアクセスするアプリには特にご注意ください。ダウンロードの操作を行うと、このアプリの使用に関する責任を負うことになります。
- アプリのインストールは安全であることを確認の上、自己責任において実施してください。ウイルスへの感染や各種データの破壊などが発生する可能性があります。
- 万一、お客様がインストールを行ったアプリなどにより各種動作不良が生じた場合、当社では責任を負いかねます。この場合、保証期間内であっても有料修理となります。
- お客様がインストールを行ったアプリなどにより自己または第三者への不利益が生じた場合、当社では責任を負いかねます。
- アプリによっては、自動的にアップデートが実行される場合があります。

おサイフケータイ®

おサイフケータイとは、NFCと呼ばれる近接型無線通信方式を用いた、電子マネーやポイントなどのサービスの総称です。

NFCとは、Near Field Communicationの略で、ISO（国際標準化機構）で規定された国際標準の近接型無線通信方式です。FeliCaを含む非接触ICカード機能やリーダー／ライター（R/W）機能、機器間通信機能（P2P）などがご利用いただけます。

- おサイフケータイを利用したサービスによっては、ご利用になりたいサービスプロバイダのおサイフケータイ対応アプリをダウンロードする必要があります。
- おサイフケータイ対応サービスのご利用にあたっては、本製品に搭載されたFeliCaチップまたはSIMカードへ、サービスのご利用に必要なデータを書き込む場合があります。

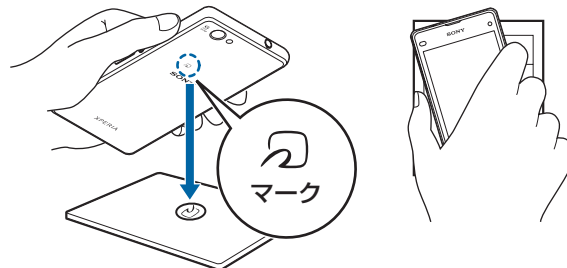
ご利用にあたっては「おサイフケータイ®対応サービスご利用上の注意」（P.95）を必ずお読みください。

おサイフケータイご利用にあたって

- 本製品の紛失には、ご注意ください。ご利用いただいていたおサイフケータイ対応サービスに関する内容は、サービス提供会社などにお問い合わせください。
- FeliCaチップ内にデータが書き込まれたままの状態でおサイフケータイの修理を行うことはできません。携帯電話の故障・修理の場合は、当社がFeliCaチップ内のデータを消去することに承諾していただく必要があります。データの消去の結果、お客様に損害が生じた場合であっても、当社は責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- FeliCaチップ内のデータが消失してしまっても、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。万一消失してしまった場合の対応は、各サービス提供会社にお問い合わせください。

リーダー／ライターとデータをやりとりする

㊦マークをリーダー／ライターにかざすだけでFeliCaチップ内のデータをやりとりできます。



- ㊦マークをリーダー／ライターにかざす際に強くぶつけないようにご注意ください。
- ㊦マークはリーダー／ライターの中心に平行になるようにかざしてください。
- ㊦マークをリーダー／ライターの中心にかざしても読み取れない場合は、本製品を少し浮かす、または前後左右にずらしてかざしてください。
- ㊦マークとリーダー／ライターの間に金属物があると読み取れないことがあります。また、ケースやカバーに入れたことにより、通信性能に影響を及ぼす可能性がありますのでご注意ください。

おサイフケータイの機能をロックする

「NFC／おサイフケータイ ロック」を設定すると、おサイフケータイの機能やサービスの利用を制限できます。

1 ホーム画面で  **▶ [設定] ▶ [その他の設定]**

2 [NFC／おサイフケータイ 設定] ▶ [NFC／おサイフケータイ ロック]

3 パスワードを入力▶【次へ】

- ・初めて「NFC／おサイフケータイ ロック」をご利用になるときは、任意のパスワードを入力すると設定されます。
- ・おサイフケータイの機能がロックされ、ステータスバーに🔒が表示されます。

💡お知らせ

- ・「NFC／おサイフケータイ ロック」設定中に電池が切れると、「NFC／おサイフケータイ ロック」を解除できなくなります。電池残量にご注意ください。「NFC／おサイフケータイ ロック」を解除する場合は、充電後に解除してください。
- ・「NFC／おサイフケータイ ロック」のパスワードは、本製品を初期化しても削除されません。
- ・「NFC／おサイフケータイ ロック」の解除は、「NFC／おサイフケータイ ロック」を設定した際に本製品に挿入していたSIMカードを取り付けた状態で行ってください。

FMラジオ

- ・FMラジオをご利用になる場合は、市販のイヤホンやヘッドホンを接続してください。受信アンテナとして機能します。

FMラジオを聴く

1 市販のイヤホンやヘッドホンの接続プラグをヘッドセット接続端子に接続

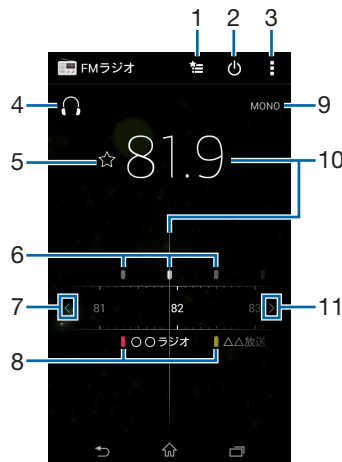
2 ホーム画面で📻▶【FMラジオ】

- ・ラジオの地域設定画面が表示された場合は、画面の指示に従って操作してください。

3 📻/📻をタップして選局

- ・画面中央を左右にフリックして選局することもできます。
- ・FMラジオを終了するには🔒をタップします。

FMラジオ画面



- 1 お気に入りリストを表示
- 2 FMラジオのオン／オフ
- 3 オプションメニュー
- 4 ヘッドホンで再生／スピーカーで再生
- 5 お気に入りの登録／編集
- 6 受信状態が良い場合に表示される帯域ポイント
- 7 左方向にチャンネルを選局
- 8 お気に入りに登録した放送局
- 9 モノラル／ステレオ効果
- 10 現在聴いている放送局
- 11 右方向にチャンネルを選局

🔦お知らせ

- ホーム画面に戻って、他の操作（カメラ、Walkman®、ムービーを除く）をしながらFMラジオをバックグラウンドで聴くことができます。FMラジオ画面に戻るには、ホーム画面で  ▶ [FMラジオ] をタップするか、ステータスバーを下にドラッグ▶ [FMラジオ] をタップします。
- 日本国内のFMラジオを聴取できないときは、ホーム画面で  ▶ [FMラジオ] ▶  ▶ [ラジオの地域を設定] ▶ [日本] をタップしてください。FMラジオを使用する際は、ご利用の地域をご確認ください。

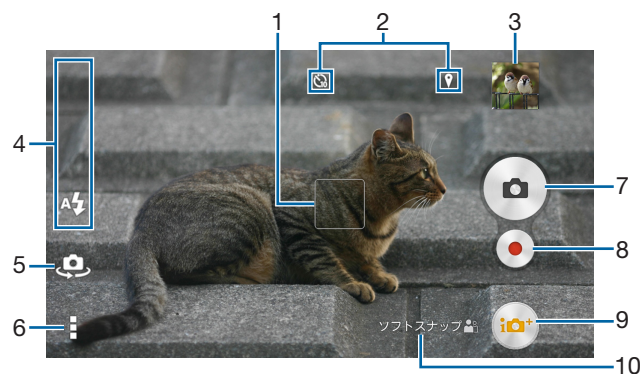
カメラ

写真や動画の撮影ができます。

カメラを起動する

1 ホーム画面で ▶ [カメラ]

撮影画面



- オートフォーカス枠
- ステータスアイコンの表示エリア
セルフタイマーやジオタグなど、設定した項目のアイコンが表示されます。
- サムネイル
タップすると、撮影した写真や動画の再生画面が表示されます。
- 設定項目アイコンの表示エリア
- フロントカメラ切り替えアイコン
- オプションメニュー
- シャッターアイコン（写真）
- 撮影開始/停止アイコン（動画）
- 撮影モードアイコン
- シーン認識アイコン
撮影モードを「プレミアムおまかせオート」に設定している場合、カメラが判断したシーンのアイコンが表示されます。
また、カメラが移動している状態、カメラが固定されている状態、被写体が動いている状態を検出するとアイコンが表示されます。

🔦お知らせ

- 撮影画面でピンチアウト/インすると、ズームイン/アウトできます。また、お買い上げ時は音量キーを押してもズームイン/アウトできます。
- 撮影モードを「ARエフェクト」「スイングパノラマ」に設定している場合やフロントカメラでの撮影時は、ズームを使用できません。

クイック起動を利用する

ロック画面で  をロングタッチして  までドラッグしたときの動作（クイック起動）を設定することで、ロック画面からカメラを起動して撮影することができます。

- ・お買い上げ時は「起動のみ」に設定されています。

- 1 ホーム画面で  ▶ **【カメラ】**
- 2  ▶ **「」タブをタップ ▶ **【クイック起動】****
- 3 **【起動のみ】** / **【起動&静止画撮影】** / **【起動&動画撮影】** のいずれかをタップ
 - ・クイック起動を解除するには、**【OFF】** をタップします。

写真を撮影する

- ・写真撮影は縦画面と横画面のどちらでも撮影できます。

シャッターアイコンで撮影する

- 1 ホーム画面で  ▶ **【カメラ】**
- 2 
 - ・オートフォーカス機能で撮影するときは、 をロングタッチし、オートフォーカス枠が青色に変わってピピッと音が鳴ったら指を離してください。指を離すとすぐに写真が撮影されます。

「タッチ撮影」で撮影する

- ・撮影モードを「プレミアムおまかせオート」「マニュアル」「スイングパノラマ」に設定しているときに操作できます。「タッチ撮影」をオンに設定してから撮影します。

- 1 ホーム画面で  ▶ **【カメラ】**
- 2 **撮影モードアイコンをタップして撮影モードを選択**
- 3  ▶ **「」タブをタップ ▶ 「タッチ撮影」の  をタップまたは右にドラッグ ▶ **
- 4 **撮影画面をタップ**
 - ・オートフォーカス機能で撮影するときは、画面をタップすると、指を離した後にオートフォーカス枠が青色に変わってピピッと音が鳴り、写真が撮影されます。

動画を撮影する

- ・動画撮影は横画面での撮影に適しています。

撮影開始／停止アイコンで撮影する

- 1 ホーム画面で  ▶ **【カメラ】**
- 2  をタップして撮影を開始 ▶  をタップして撮影を停止
 - ・撮影モードを「マニュアル」に設定している場合は、 をタップして動画撮影画面を表示してから  をタップします。

「タッチ撮影」で撮影する

- ・撮影モードを「マニュアル」に設定し、動画撮影画面を表示し、「タッチ撮影」をオンに設定してから撮影を開始します。

- 1 ホーム画面で ▶ **【カメラ】**
- 2 撮影モードアイコンをタップ ▶ **【マニュアル】** ▶
- 3 ▶ **「」** タブをタップ ▶ **「タッチ撮影」** の をタップまたは右にドラッグ ▶
- 4 撮影画面をタップして撮影を開始／停止

お知らせ

- ・動画撮影中に をタップすると写真を撮影できます。撮影される画像サイズは、ビデオ解像度の設定により異なります。
フルHD：2メガピクセル（1920×1080）、縦横比16:9
HD：1メガピクセル（1280×720）、縦横比16:9
VGA：640×480ピクセル、縦横比4:3
MMS：176×144ピクセル、縦横比4:3

顔検出を使用して撮影する

中心から外れた位置の顔にピントを合わせることができます。撮影モードを「プレミアムおまかせオート」に設定している場合は、自動で顔検出を行います。「マニュアル」に設定している場合は、「フォーカスモード」を「顔検出」に設定してから撮影を開始します。

- 1 ホーム画面で ▶ **【カメラ】**
- 2 撮影モードアイコンをタップ ▶ **【マニュアル】**
 - ・動画を撮影する場合は、 をタップして動画撮影画面を表示します。
- 3 ▶ **「」** タブ／**「」** タブをタップ ▶ **【フォーカスモード】** ▶ **【顔検出】** ▶
- 4 カメラを被写体に向ける
 - ・検出した顔にオートフォーカス枠が表示されます（最大で5つ）。
- 5 ピントを合わせるオートフォーカス枠をタップするか、タップせずにピントを合わせる顔をカメラに選ばせる
 - ・ピントを合わせる顔のオートフォーカス枠が黄色に変わります。
- 6 写真／動画を撮影

スマイルシャッターを使用して撮影する

笑った瞬間の顔を撮影できます。

- 1 ホーム画面で ▶ **【カメラ】**
- 2 ▶ **「」** タブ／**「」** タブをタップ ▶ **【スマイルシャッター】** ／ **【スマイルシャッター（録画中）】**
- 3 スマイル検出機能が反応する笑顔のレベルを選択 ▶
- 4 カメラを被写体に向ける
 - ・動画撮影時は、動画撮影を開始してください。
 - ・検出した顔にオートフォーカス枠が表示されます（最大で5つ）。
 - ・カメラがピントを合わせる顔を選択します。ピントを合わせる顔のオートフォーカス枠が黄色（写真撮影時）／青色（動画撮影時）に変わります。
- 5 ピントを合わせる顔が笑うと、カメラが自動的に写真を撮影

撮影モードを変更する

1 ホーム画面で ▶【カメラ】

2 撮影モードアイコンをタップ▶撮影モードを選択

プレミアムおまかせオート

自動的に最適化された設定で写真や動画を撮影します。

カメラが固定されている状態（）、被写体が動いている状態（）を検出し、最適なシーンを判断します。

「ソフトスナップ」「風景」「逆光」「逆光&人物」「夜景」「夜景&人物」「ドキュメント」「マクロ」「低照度」「赤ちゃん」「スポットライト」からシーンが認識され、アイコンが表示されます。

マニュアル

写真や動画の撮影設定を手動で変更できます。

ARエフェクト

恐竜時代や海の中など、仮想世界に入って写真や動画を撮影できます。

クリエイティブエフェクト

さまざまな撮影効果をかけて印象的な写真や動画を撮影できます。

タイムシフト連写

シャッター前後の連写画像から、ベストな瞬間を選択できます。シャッター前後の1秒間の写真が合計61枚連続撮影され、写真はすべて保存されます。撮影後のプレビュー画面でサムネイルから選択した写真は、「アルバム」アプリで表示されるカバー画像になります。

スイングパノラマ

本製品を動かしてパノラマ写真を撮影できます。

撮影画面に表示される白い枠の中心線に矢印を合わせながら、本製品をゆっくり動かして撮影します。

🔔お知らせ

- ・撮影モード選択画面で「+アプリ」をタップすると、カメラアプリをダウンロードして撮影モードに追加することができます。

撮影時の設定を変更する

オプションメニューから設定を変更する

1 ホーム画面で ▶【カメラ】

2 ▶「」タブ／「」タブ／「」タブのいずれかをタップ

- ・表示される画面の項目をタップして設定してください。

縦横比（写真撮影時のみ）	撮影モードを「プレミアムおまかせオート」に設定している場合に、写真の縦横比を16:9または4:3に設定します。
解像度（写真撮影時のみ）	写真の解像度を設定します。 ・撮影モードを「プレミアムおまかせオート」に設定している場合は「8MP」（4:3）／「8MP」（16:9）で撮影されます。 ・撮影モードを「ARエフェクト」「クリエイティブエフェクト」「タイムシフト連写」に設定している場合は「2MP」（16:9）で撮影されます。
ビデオ解像度（動画撮影時のみ）	動画の解像度を設定します。 ・撮影モードを「プレミアムおまかせオート」「クリエイティブエフェクト」に設定している場合は「フルHD」（16:9）で撮影されます。 ・撮影モードを「ARエフェクト」に設定している場合は「HD」で撮影されます。
セルフタイマー	設定した秒数が経過した後に撮影します。 ・写真撮影時は、手ブレを防止するためにセルフタイマーを使用することをおすすめします。

スマイルシャッター／スマイルシャッター（録画中）	スマイル検出機能が反応する笑顔のレベルを設定します。
フォーカスモード	ピントの合わせかたを設定します。 シングルオートフォーカス：撮影画面の中央に自動的にピントを合わせます。 マルチオートフォーカス（写真撮影時のみ）：撮影画面の複数箇所にカメラが自動的にピントを合わせます。や撮影画面をタップ／音量キーを押してピントが合った箇所は、オートフォーカス枠が白色から青色に変わります。 顔検出：複数の顔を検出して、顔にピントを合わせます。 タッチフォーカス（写真撮影時のみ）：撮影画面でタップした箇所にオートフォーカス枠が移動し、ピントを合わせます。 追尾フォーカス：被写体を追尾してピントを合わせます。
HDR／HDRビデオ	ハイダイナミックレンジ機能を使用し、逆光などの明暗に差のある状況でも見た目に近い自然な印象で撮影できるようにするかどうかを設定します。
ISO（写真撮影時のみ）	ISO感度を設定します。
測光	撮影画面の明るさを測定して、最適な露出のバランスを自動的に判断します。 中央：撮影画面の中央に重心を置き、画面全体で測光して露出を調整します。 平均：撮影画面全体の明るさに基づいて露出を調整します。 スポット：撮影画面内の中央の一点のみで測光して露出を調整します。
手ブレ補正／電子式手ブレ補正	撮影時の手ブレを軽減するかどうかを設定します。
美肌効果（フロントカメラでの写真撮影時のみ）	人物の肌をなめらかに補正して撮影するかどうかを設定します。
マイク（動画撮影時のみ）	動画撮影時に周囲の音を録音するかどうかを設定します。
プレビュー	撮影した直後にプレビューを表示する時間を設定します。 「編集」に設定すると、撮影直後に編集画面が表示されます。
長押し連写（写真撮影時のみ）	をロングタッチして連写撮影するかどうかを設定します。 撮影モードが「プレミアムおまかせオート」でメインカメラの場合は、被写体の動く速さに応じて「速度優先連写」または「画質優先連写」を選択します。 「タッチ撮影」がオンの場合は、撮影画面をロングタッチしても長押し連写ができます。
個人顔登録（写真撮影時のみ）	「アルバム」アプリでタグ付けされた顔に名前を表示し、優先してピントを合わせるかどうかを設定します。
クイック起動	クイック起動利用時の動作を設定します。
ジオタグ	写真／動画に詳細な撮影場所を示す位置情報のタグ（ジオタグ）を付けるかどうかを設定します。 - オンに設定すると、撮影画面にが表示されているときに位置情報が付加されます。 - 位置情報取得中はが表示されます。位置情報取得中に撮影をしても、ジオタグは付加されません。
タッチ撮影	撮影画面をタップして撮影できるようにするかどうかを設定します。
音量キー設定	音量キーに割り当てる機能を設定します。 設定を変更することで音量キーをシャッターキーとして使用し撮影をすることなどができます。
保存先	撮影した写真／動画の保存先を設定します。

💡お知らせ

- 撮影モードによって表示される設定項目は異なります。
- 設定によっては、他の設定と同時に使用できない場合があります。

画面のアイコンから設定を変更する

撮影画面に表示されるアイコンをタップして設定を変更します。

• シーンセレクション

撮影シーンを選択します。選択したシーンに最適な撮影条件が設定されます。

-  OFF：シーン設定をしないで撮影します。
-  美肌：人物の肌をなめらかに補正して撮影します。
-  ソフトスナップ：人物の肌を明るくきれいに撮影します。
-  人物ブレ軽減：室内の人物撮影でブレを軽減します。
-  風景：青空や草木の色を鮮やかに表現し、遠景にピントを合わせて撮影します。
-  逆光補正HDR：ハイダイナミックレンジ機能で逆光を補正します。
-  夜景&人物：夜景を背景にした人物の撮影に適しています。露出時間が長くなるため、手ブレにご注意ください。
-  夜景：夜景をきれいに撮影します。露出時間が長くなるため、手ブレにご注意ください。
-  手持ち夜景：手ブレを抑えて夜景をきれいに撮影します。
-  高感度：暗いところでも明るく撮影します。
-  料理：料理を明るく美味しくように撮影します。
-  ペット：ペットの撮影に適しています。
-  ビーチ：ビーチを明るく鮮やかに再現します。
-  スノー：雪景色を明るく鮮やかに再現します。
-  パーティー：室内の照明の雰囲気を活かしながら、きれいに撮影します。露出時間が長くなるため、手ブレにご注意ください。
-  スポーツ：動きの速い被写体の撮影で、露出時間を短くして動きのブレを最小限に抑えます。
-  ドキュメント：文字や図の撮影に使用します。文字をくっきりと明るく、読みやすく撮影します。
-  打ち上げ花火：打ち上げ花火をきれいに撮影します。露出時間が長くなるため、手ブレにご注意ください。

• 明るさ (EV補正)・ホワイトバランス

明るさ (EV補正) は、バーをタップまたはドラッグして調整します。

ホワイトバランスは、周囲の光源に合わせて設定を変更します。

-  自動：周囲の光源に合わせて自動的に調整します。
-  電球：電球のような照明に合わせて調整します。
-  蛍光灯：蛍光灯のような照明に合わせて調整します。
-  太陽光：日なたでの撮影に合わせて調整します。
-  曇り：曇り空や日陰に合わせて調整します。

• 撮影方向

スイングパノラマ®の撮影方向を設定します。

-  右：左から右へ撮影します。
-  左：右から左へ撮影します。
-  下：上から下へ撮影します。
-  上：下から上へ撮影します。

💡お知らせ

- 撮影モードによって表示されるアイコンは異なります。

カメラに関するご注意

- 本製品で撮影した写真または動画は、すべて内部ストレージまたはmicroSDカードに保存されます。microSDカードに保存する場合は、カメラを使用する前にmicroSDカードを取り付けてください。
- 本製品の温度が上昇すると、カメラが起動しない場合や、停止する場合があります。
- 市販のイヤホン、または他のBluetooth機器などと接続しているときは、シャッター音や撮影開始／停止音が通常より小さくなる場合があります。
- 解像度が高くなるほど、記録するためにより大きなメモリー容量が必要になります。

写真撮影について

- オートフォーカス枠が表示されない場合は、オートフォーカスが失敗しています。
- ISO感度を上げると、光量の少ない場所でも明るく、手ブレを軽減して撮影できます。ただし、ノイズが目立ちます。
ISO感度を下げると、ノイズが目立たなく撮影できます。ただし、光量の少ない場所では暗く、手ブレしやすくなる場合があります。

動画撮影について

- 動画撮影時は、マイクを指などでふさがないようにしてください。

スイングパノラマ撮影について

- スイングパノラマは横画面で撮影します。
- 動きのある被写体や背景などは、スイングパノラマ撮影に適していません。
- 一定時間内にスイングパノラマ撮影画角に満たなかった場合、足りない部分はグレーで記録されます。この場合はカメラを速く動かすと最後まで記録されます。
- 複数の画像を合成するため、つなぎ目がなめらかに記録できない場合があります。
- 暗いシーンでは画像がブレる場合や、撮影ができない場合があります。
- 蛍光灯など、ちらつきのある光源がある場合、合成された画像の明るさや色合いが一定でなくなり、うまく撮影できないことがあります。
- スイングパノラマ撮影される画角全体と、ピントを合わせたときの画角とで、明るさや色合い、ピント位置などが極端に異なる場合、うまく撮影できないことがあります。
- カメラを動かす速度が速すぎる場合や遅すぎる場合、カメラを撮影方向と逆に動かした場合などは、スイングパノラマ撮影が中断されることがあります。

著作権・肖像権について

- お客様が本製品で撮影または録音したものは、個人で楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。また、他人の肖像や氏名を無断で使用、改変などすると、肖像権の侵害となる場合がありますので、そのようなご利用もお控えください。撮影したものをインターネットホームページなどで公開する場合も、著作権や肖像権には十分にご注意ください。なお、実演や興行、展示物などのうちには、個人として楽しむなどの目的であっても、撮影を制限している場合がありますので、ご注意ください。著作権に関わる画像の伝送は、著作権法の規定による範囲内で使用する以外はご利用になれませんので、ご注意ください。
- カメラ付き端末を利用して撮影や画像送信を行う際は、プライバシーなどにご配慮ください。
- お客様が本製品を利用して公衆に著しく迷惑をかける不良行為等を行う場合、法律、条例（迷惑防止条例等）に従い処罰されることがあります。

アルバム

写真や動画を閲覧・再生できます。

写真を再生する

1 ホーム画面で【アルバム】

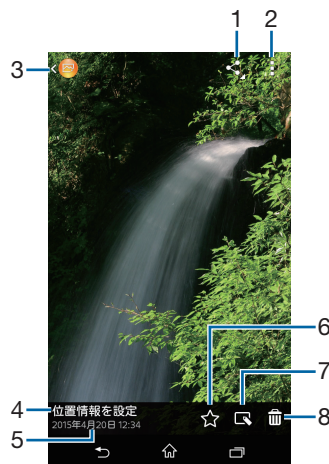
- 画像が時系列で一覧表示されます。

2 画面の左端を右にフリックしてカテゴリー一覧を表示

3 カテゴリーを選択▶写真をタップ

- 画面をタップすると、撮影日時などの情報やオプションメニューのアイコンなどが表示されます。

写真再生画面



- 1 共有メニュー
- 2 オプションメニュー
- 3 画像一覧画面に戻る
- 4 位置情報
タップするとジオタグを付加できます。
- 5 撮影日時
- 6 お気に入りに登録／解除
- 7 写真进行操作
📷：写真を編集
🔄：連写ファイルをスライドショー再生
🕒：タイムシフト連写ファイルを確認
- 8 削除

🔔お知らせ

- 選択したファイルにより表示される項目は異なります。

オプションメニューを利用する

スライドショー再生や画像ファイルの編集などができます。

1 写真再生画面で📷▶項目进行操作

🔔お知らせ

- 「Throw」を使うとワイヤレスで写真や動画を他の機器で再生できます。
- 選択した画像ファイルによっては、表示されるメニューが異なる場合や、操作できない場合があります。
- 著作権保護技術（DRM）で管理されたコンテンツや転送するアプリにより共有が制限される場合があります。

アルバムの動画を再生する

- 1 ホーム画面で【アルバム】
- 2 画面の左端を右にフリックしてカテゴリー一覧を表示
- 3 カテゴリーを選択▶動画をタップ▶
- 4 アプリを選択

- ・以降の操作は、選択したアプリにより異なります。画面の指示に従って操作してください。

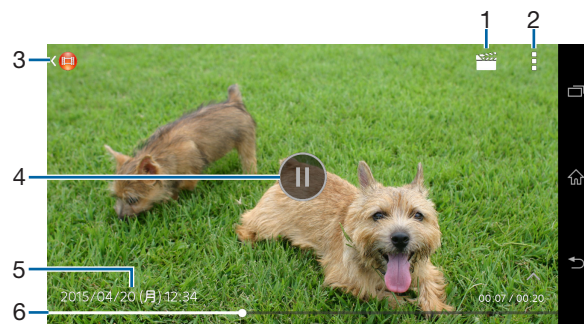
ムービー

Video Unlimitedでダウンロードした作品や、PCなどから転送した動画、本製品のカメラで撮影した動画などを再生できます。

動画を再生する

- 1 ホーム画面で【ムービー】
- 2 画面の左端を右にフリックしてカテゴリー一覧を表示
- 3 カテゴリーを選択▶動画をタップ
 - ・画面をタップすると、ファイル名または撮影日時などの情報や、オプションメニューのアイコンなどが表示されます。

動画再生画面



- 1 動画を編集
- 2 オプションメニュー
- 3 動画一覧画面に戻る
- 4 再生／一時停止
- 5 動画ファイル名／撮影日時
- 6 プログレスバー
プログレスバー上をタップしたり、マーカーを左右にドラッグして再生位置を変更できます。

💡お知らせ

- ・動画再生中に音量キーを押すと音量を変更できます。

オプションメニューを利用する

オーディオ設定や画面設定、ムービーの設定などができます。

- 1 動画再生画面で▶項目を操作

🔦お知らせ

- 「Throw」を使うとワイヤレスで動画を他の機器で再生できます。
- 選択した動画ファイルによっては、表示されるメニューが異なる場合や、操作できない場合があります。
- 著作権保護技術（DRM）で管理されたコンテンツや転送するアプリにより共有が制限される場合があります。

YouTube

YouTubeは無料オンライン動画ストリーミングサービスで、動画の再生、検索、アップロードができます。

- YouTubeについて詳しくは、ホーム画面で  ▶ [YouTube] ▶  ▶ [ヘルプ] をタップしてYouTubeのヘルプをご覧ください。

YouTube動画を再生する

1 ホーム画面で ▶ [YouTube]

- メッセージが表示された場合は、画面の指示に従って操作してください。

2 動画をタップして再生

-  をタップすると動画を検索できます。

🔦お知らせ

- 検索履歴を消去するには、手順2で  ▶ [設定] ▶ [検索] ▶ [検索履歴を消去] ▶ [OK] をタップします。

Walkman®

Walkman®を使用すると、音楽を聴くことができます。

楽曲データを再生する

1 ホーム画面で [Walkman]

2 画面の左端を右にフリックしてカテゴリー一覧を表示

3 カテゴリーを選択 ▶ 再生する楽曲を選択

🔦お知らせ

- バックグラウンド再生中に楽曲再生画面に戻るには、ホーム画面で [Walkman] をタップするか、ステータスバーを下にドラッグ ▶ 再生中の曲名をタップします。

オプションメニューを利用する

楽曲情報の編集や再生に関する設定などができます。

1 楽曲再生画面で ▶ 項目を操作

プレイリストを再生する

1 カテゴリー一覧で [プレイリスト]

2 プレイリストを選択 ▶ 楽曲を選択

- 選択した楽曲から再生されます。

楽曲を共有する

楽曲データをBluetoothやメール添付などで送信することができます。

1 カテゴリー一覧でカテゴリーを選択

2 送信する楽曲をロングタッチ▶【共有】

3 アプリを選択

- ・以降の操作は、選択したアプリにより異なります。画面の指示に従って操作してください。

🔦お知らせ

- ・著作権保護技術（DRM）で管理されたコンテンツや転送するアプリにより共有が制限される場合があります。

Google マップ

Google マップを利用して、現在地の表示や別の場所の検索などができます。

- ・Google マップは、一部の国や地域を対象としていない場合があります。

1 ホーム画面で📍▶【マップ】

- ・メッセージが表示された場合は、画面の指示に従って操作してください。

🔦お知らせ

- ・現在地を特定するには、位置情報を有効にする必要があります（P.65）。
- ・利用方法などについて詳しくは、マップ画面で画面の左端を右にフリック▶【ヘルプ】をタップしてGoogle マップのヘルプをご覧ください。

GPS機能について

本製品には、衛星信号を使用して現在地を算出するGPS受信機が搭載されています。いくつかのGPS機能は、インターネットを使用します。

現在地の測位にGPS機能を使用するときは、空を広く見渡せることを確認してください。数分たっても現在地を測位できない場合は、別の場所に移動する必要があります。測位しやすくするために、動かず、GPSアンテナ部を覆わないようにしてください。GPS機能を初めて使用するときは、現在地の測位に最大で10分程度かかることがあります。

- ・GPSシステムのご利用には十分注意してください。システムの異常などにより損害が生じた場合、当社では一切の責任を負いかねますので、ご了承ください。
- ・本製品の故障、誤動作、異常、あるいは停電などの外部要因（電池切れを含む）によって、測位（通信）結果の確認などの機会を逸したために生じた損害などの純粋経済損害につきましては、当社は一切その責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- ・本製品は、航空機、車両、人などの航法装置として使用できません。そのため、位置情報を利用して航法を行うことによる損害が発生しても、当社は一切その責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- ・高精度の測量用GPSとしては使用できません。そのため、位置の誤差による損害が発生しても、当社は一切その責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- ・衛星利用測位（GPS）は、米国防省により構築され運営されています。同省がシステムの精度や維持管理を担当しています。このため、同省が何らかの変更を加えた場合、GPSシステムの精度や機能に影響が出る場合があります。
- ・本製品は、衛星信号を妨害する恐れがあり、信号受信が不安定になることがあります。
- ・各国・地域の法制度などにより、取得した位置情報（緯度経度情報）に基づく地図上の表示が正確でない場合があります。
- ・GPSは人工衛星からの電波を利用しているため、建物や自動車の中や高圧線の近くなどの条件では、電波を受信できない、または受信しにくい状況が発生しますのでご注意ください。
- ・当社はナビゲーションサービスに限らず、いずれの位置情報サービスの正確性も保証しません。

カレンダー

カレンダーを表示する

- 1 ホーム画面で  ▶ **【カレンダー】**
- 2 画面の左端を右にフリック ▶ **【年】 / 【月】 / 【週】 / 【日】 のいずれかをタップ**
 - ・ カレンダー部分を左右にフリックすると、前後の年、月、週、日を表示します。

カレンダーの予定を作成する

- 1 ホーム画面で  ▶ **【カレンダー】**
- 2 予定を作成する日付／時間をロングタッチ ▶ **【予定を作成】 ▶ 項目を入力**
 - ・ **【その他】** をタップすると、詳細な設定項目が表示されます。
- 3 **【完了】**

🔔お知らせ

- ・ 予定の通知を設定している場合は、通知時刻になるとステータスバーに  が表示されます。ステータスバーを下にドラッグ ▶ **【スヌーズ】 / 【解除】** をタップすると、スヌーズの設定や通知の解除ができます。

カレンダーの予定を表示する

- 1 ホーム画面で  ▶ **【カレンダー】 ▶ 予定のある日付／時間を表示**
 - ・ ホーム画面で  ▶ **【カレンダー】 ▶ 画面の左端を右にフリック ▶ 【予定リスト】** をタップすると、予定の一覧を表示します。
- 2 **詳細を表示する予定をタップ**

🔔お知らせ

- ・ 予定を削除するには、手順2で削除する予定をロングタッチ ▶ **【予定を削除】 ▶ 【削除】** をタップします。
- ・ すべての予定を削除するには、ホーム画面で  ▶ **【カレンダー】 ▶  ▶ 【設定】 ▶ 【すべての予定を削除】 ▶ 【削除】** をタップします。

カレンダーの予定を検索する

- 1 ホーム画面で  ▶ **【カレンダー】**
- 2  ▶ **【検索】**
- 3 キーワードを入力
- 4 ソフトウェアキーボードの 

カレンダーを同期する

- ・ 同期するには、Googleアカウントの設定が必要となります。

- 1 ホーム画面で  ▶ **【カレンダー】**
- 2 画面の左端を右にフリック
- 3 同期するカレンダーにチェックを入れる

アラームと時計

アラームや世界時計、ストップウォッチ、タイマーを利用できます。

アラームを設定する

- 1 ホーム画面で  ► [アラームと時計]
- 2  ► 時間などを設定
- 3 [完了]

🔔お知らせ

- ・アラームを削除するには、手順2で  ► [アラームを削除] ► 削除するアラームにチェックを入れる ► [削除] ► [はい] をタップします。

アラームのオン／オフを切り替える

- 1 ホーム画面で  ► [アラームと時計]
- 2 オン／オフを切り替えたいアラームの  /  をタップまたは右／左にドラッグ

アラーム音を止める

- 1 アラームが鳴っているときに  を右にドラッグ

世界時計を利用する

世界各地の都市の日時などを表示できます。

- 1 ホーム画面で  ► [アラームと時計] ► 「」タブをタップ
- 2  ► 追加する都市を選択

🔔お知らせ

- ・サマータイム期間中の時刻表示は、手順2の都市を選択する画面で表示される時差表示とは異なる場合があります。
- ・都市を削除するには、手順2で  ► [削除] ► 削除する都市にチェックを入れる ► [削除] ► [はい] をタップします。

ストップウォッチを利用する

- 1 ホーム画面で  ► [アラームと時計] ► 「」タブをタップ
- 2 [開始]
- 3 [停止]

タイマーを利用する

- 1 ホーム画面で  ► [アラームと時計] ► 「」タブをタップ
- 2 [時間設定]
- 3 数字を上下にドラッグして時間を合わせる ► [OK]
- 4 [開始]
- 5 [停止]

設定メニューを表示する

設定メニューから各種機能を確認、設定します。ネットワークの設定や本製品のカスタマイズ、セキュリティの設定、アカウントの設定、端末情報の確認などできます。

1 ホーム画面で ► [設定]

無線とネットワーク

- 「Bluetooth」について→P.74
- 「NFC」「Android Beam」について→P.76

Wi-Fi

Wi-Fi機能を利用して、自宅や社内ネットワーク、公衆無線LANサービスのアクセスポイントに接続して、メールやインターネットを利用できます。

Bluetooth機器との電波干渉について

Bluetooth機器と無線LAN（IEEE802.11b/g/n）は同一周波数（2.4GHz）を使用するため、無線LANを搭載した機器の近くで使用すると、電波干渉が発生し、通信速度の低下、雑音や接続不能の原因になる場合があります。また、ストリーミングデータ再生時などで通信が途切れたり音声か乱れたりすることがあります。この場合、次の対策を行ってください。

- 無線LAN機器とBluetooth機器の位置を離してください。必要な距離は機器によって異なります。
- 改善しない場合はBluetooth機器の電源を切ってください。

Wi-Fiをオンにする

- 1 ホーム画面で  ► [設定] ► 「Wi-Fi」の  をタップまたは右にドラッグ
 - Wi-Fiがオンになるまで、数秒かかる場合があります。

💡お知らせ

- Wi-Fi機能を使用するときには十分な電波強度が得られるようご注意ください。
- Wi-Fi機能を使用しないときは、オフにすることで電池の消費を抑制できます。

Wi-Fiネットワークに接続する

1 ホーム画面で ► [設定] ► [Wi-Fi]

2 接続したいWi-Fiネットワークを選択

- セキュリティで保護されている場合は、Wi-Fiネットワークのパスワードを入力 ► [接続] をタップします。
- WPS対応機器で接続する場合は、 をタップするか、 ► [WPS PIN入力] をタップし、画面の指示に従って操作してください。
- 手動でスキャンする場合は、 ► [スキャン] をタップします。

💡お知らせ

- お使いの環境によっては通信速度が低下したり、ご利用になれない場合があります。
- Wi-Fiネットワークへの接続が成功すると、「接続されました」と表示されます。異なるメッセージが表示された場合は、パスワード（セキュリティキー）をご確認ください。
なお、正しいパスワード（セキュリティキー）を入力しても接続できない場合は、正しいIPアドレスを取得できていないことがあります。電波状況をご確認の上、接続し直してください。Wi-Fiネットワークに接続操作をしてから、接続結果のメッセージが表示されるまでに5分以上かかる場合があります。

接続中のWi-Fiネットワークの設定を削除する

- 1 ホーム画面で  ► [設定] ► [Wi-Fi]
- 2 現在接続中のWi-Fiネットワークをタップ ► [設定を削除]

Wi-Fiネットワークを手動で追加する

・あらかじめWi-Fiをオンにしておく必要があります。

- 1 ホーム画面で  ► [設定] ► [Wi-Fi]
- 2  ► 追加するWi-FiネットワークのネットワークSSIDを入力
- 3 「セキュリティ」の設定項目をタップ ► 追加するWi-Fiネットワークのセキュリティタイプをタップ
- 4 必要に応じて、追加するWi-Fiネットワークのセキュリティ情報を入力
- 5 [保存]

Wi-Fiネットワークの詳細を設定する

- 1 ホーム画面で  ► [設定] ► [Wi-Fi]
- 2  ► [詳細設定]

・表示される画面の項目をタップして設定してください。

ネットワークの通知	Wi-Fiオープンネットワークを検出したときに通知するかどうかを設定します。 ・あらかじめWi-Fiをオンにしておく必要があります。
スリープ時のWi-Fi接続	画面のバックライトが消灯したときに本製品のWi-Fi機能がオフになるように設定します。
スキャンを常に実行する	Wi-Fiがオフの場合に、Googleの位置情報サービスと他のアプリでネットワークをスキャンするかどうかを設定します。
接続不良のとき無効にする	安定した接続があるときのみWi-Fiを利用するかどうかを設定します。
証明書のインストール	証明書をインストールします。
Wi-Fi最適化	Wi-Fiがオンのときに電池消費を抑えるかどうかを設定します。
Auto IPの使用	Auto IP機能のオン／オフを切り替えます。
Passpoint	利用可能なPasspointネットワークに自動接続するかどうかを設定します。
Passpointネットワーク	Passpointネットワークを設定します。
MACアドレス	MACアドレスを確認します。
IPアドレス	IPアドレスを確認します。

Wi-Fi Direct対応機器を利用する

アクセスポイントを設定しなくても、Wi-Fi Direct機能に対応した機器間で直接Wi-Fi接続ができます。

・あらかじめWi-Fiをオンにしておく必要があります。

- 1 ホーム画面で  ► [設定] ► [Wi-Fi]
- 2  ► [Wi-Fi Direct]
- 3 接続するWi-Fi Direct対応機器名を選択

- ・ [機器の検索] をタップすると、検出一覧を更新できます。
- ・ 検出されたWi-Fi Direct対応機器側で表示される本製品の名前を変更するには、[機器名を変更] をタップします。

🔦お知らせ

- Wi-Fi Direct機能は、対応したアプリをインストールすることで利用可能となります。

データ使用

データの測定期間を設定する

1 ホーム画面で  ▶ **【設定】** ▶ **【データ使用】**

2 「データ使用周期」の設定項目をタップ▶期間をタップ

オプションメニューを利用する

1 ホーム画面で  ▶ **【設定】** ▶ **【データ使用】** ▶ 

- 表示される画面の項目をタップして設定してください。

データローミング	データローミングを許可するかどうかを設定します。
バックグラウンドデータ制限	バックグラウンドデータを制限するかどうかを設定します。
データの自動同期	→ P.69
Wi-Fiの使用状況を表示	Wi-Fiの使用状況を表示するかどうかを設定します。
モバイルアクセスポイント	特定のWi-Fiネットワークの利用を制限するように設定できます。

Xperia™接続設定

1 ホーム画面で  ▶ **【設定】**

2 **【Xperia™接続設定】**

- 表示される画面の項目をタップして設定してください。

ワンタッチ設定	本製品とXperia™機器（Android4.4以降）の2台を一緒に使うときに便利な設定をワンタッチで行います。
Throw設定	本製品のコンテンツを他の機器で再生します。
スクリーンミラーリング	スクリーンミラーリングに対応したテレビやタブレットに接続し、本製品の画面を表示します。また、スクリーンミラーリングに対応したXperia™などの画面を本製品に表示します。
メディアサーバー設定	→ P.79
Windowsテザリング接続	Windows テザリング接続に関する説明を表示します。
ワイヤレスコントローラ (DUALSHOCK™3)	DUALSHOCK®シリーズワイヤレスコントローラを本製品に接続します。
MirrorLink™の開始	microUSBケーブルを使用して、MirrorLink™ 認定の車載機器から本製品を操作できるように設定します。 著作権保護されたデータは表示できません。
USB接続設定	microUSBケーブルで接続するときのUSB接続モードなどの設定を変更します。

🔦お知らせ

- スクリーンミラーリングはWi-Fi CERTIFIED Miracast™に準拠しています。使用環境によって映像や音声途切れたり、止まったりする場合があります。Bluetooth／Wi-Fi／GPSアンテナ部付近を手で覆うと、転送する映像の品質に影響を及ぼす場合があります。

その他の設定

1 ホーム画面で ► [設定]

2 [その他の設定]

- 表示される画面の項目をタップして設定してください。

機内モード	→ P.60
標準のメッセージアプリ	通常使用するメッセージアプリを設定します。
テザリング	テザリング機能を利用すると、本製品をモデムとしてUSB対応機器や、無線LAN対応機器、Bluetoothデバイスをインターネットに接続させることができます。
VPN	→ P.60
モバイルネットワーク	モバイルデータ通信の設定やネットワークモード、アクセスポイントなどを設定します。
NFC／おサイフケータイ設定	→ P.76

機内モード

インターネット接続（メールの送受信を含む）など、電波を発する機能をすべて無効にします。

1 ホーム画面で ► [設定] ► [その他の設定]

2 「機内モード」にチェックを入れる

- 機内モードをオンに設定すると、ステータスバーに  が表示されます。

💡お知らせ

- Ⓞ を1秒以上押す ► [機内モード] をタップしても、機内モードのオン／オフを設定できません。
- 機内モードがオンの場合でもWi-FiやBluetooth機能、NFCのReader/Writer、P2P機能をオンにすることができます。電波の使用を禁止された区域ではこれらの機能は使用しないでください。

VPN（仮想プライベートネットワーク）に接続する

仮想プライベートネットワーク（VPN：Virtual Private Network）を使うと、企業や学校などの保護されたローカルネットワーク内の情報に外部からアクセスできます。

- 本製品からVPNを設定するには、ネットワーク管理者からセキュリティに関する情報を得る必要があります。詳しくは、次のホームページをご覧ください。

<http://www.sonymobile.co.jp/support/>

VPNを追加する

1 ホーム画面で ► [設定] ► [その他の設定] ► [VPN]

- 注意文が表示された場合は、画面の指示に従って画面ロックの解除方法を設定してください。

2

3 編集画面が表示されたら、ネットワーク管理者の指示に従い、VPN設定の各項目を入力／設定

4 [保存]

💡お知らせ

- VPNを編集／削除するには、VPNをロングタッチ ► [プロフィールを編集] ／ [プロフィールを削除] をタップします。

VPNに接続する

1 ホーム画面で ▶ [設定] ▶ [その他の設定] ▶ [VPN]

2 接続するVPNをタップ

3 必要な認証情報を入力 ▶ [接続]

• VPNに接続すると、接続中を示す  がステータスバーに表示されます。

VPNを切断する

1 ステータスバーを下にドラッグ

2 VPN接続中を示す通知をタップ

3 [切断]

機器

個人設定

1 ホーム画面で ▶ [設定]

2 [個人設定]

• 表示される画面の項目をタップして設定してください。

Xperia™ テーマ	ホーム画面やロック画面の壁紙などのテーマを変更します。
壁紙	ホーム画面の壁紙を変更します。
ロック画面	ロック画面の壁紙を変更します。
クイック設定ツール	通知パネルに表示するクイック設定ツール (P.15) を変更します。
表示された通知を削除	通知パネルを開いたときに、ステータスバーから通知アイコンを削除するかどうかを設定します。
通知の管理	通知パネル内の通知を表示するアプリを選択します。
ステータスバーアイコン	ステータスバーに表示するアイコンを選択できます。

ホーム

1 ホーム画面で ▶ [設定]

2 [ホーム]

• 表示される画面の項目をタップして設定してください。

シンプルホーム	ホーム画面をシンプルホームに設定します。
Xperia™ ホーム	ホーム画面をXperia™ ホームに設定します。

音設定

1 ホーム画面で ▶ [設定]

2 [音設定]

• 表示される画面の項目をタップして設定してください。

サウンドエフェクト	サウンドに関する設定を行います。
音量	メディア再生音、通知、アラームの音量を調節します。 • アラームの音量は「アラームと時計」アプリの設定が優先されます。
着信音	着信音を変更します。
ステップアップ音量	着信音量を次第に大きく鳴るようにするかどうかを設定します。
着信時バイブレーション	着信時に本製品を振動させるかどうかを設定します。
通知音	通知音を変更します。

ダイヤルパッド操作音	ダイヤルパッドを操作したときに音を鳴らすかどうかを設定します。
タッチ操作音	メニューを選択したときに音を鳴らすかどうかを設定します。
画面ロック解除時の音	画面ロックの解除時に音を鳴らすかどうかを設定します。
操作時バイブレーション	特定のソフトキー操作など一部の操作時に、本製品を振動させるかどうかを設定します。

画面設定

1 ホーム画面で ► [設定]

2 [画面設定]

- 表示される画面の項目をタップして設定してください。

X-Reality for mobile	映像シーンに応じて要素を分析し、模様、輪郭、色成分を調整します。模様では、被写体の繊細な模様を強調し、きめ細やかな質感を描写します。また、くっきりと輪郭を強調し、鮮鋭感を再現します。色成分では、自然の持つ豊かな色合いを忠実にとらえ、色鮮やかさを再現します。なお、静止画の画質改善処理は「アルバム」アプリでの表示に限ります。
手ぶくろモード	タッチ感度を上げて、手袋をしている状態でもタッチ操作ができるように設定します。 • 手ぶくろモードをオンにして手袋で画面に触れると、触れた箇所にリングが表示されます。 • 手袋の素材によってはタッチ操作がしづらい場合があります。
画面の明るさ	画面の明るさを調整します。 • 「明るさを自動調整」にチェックを入れると、手動で設定した明るさを基準に、周囲の明るさに応じて自動で明るさを調整します。
ホワイトバランス	ホワイトバランスを調整します。 • 「ここを長押しすると以前の設定が確認できます」と表示された部分をロングタッチすると、調整前を設定を確認することができます。
画面の自動回転	本製品の向きに合わせて、自動的に縦画面表示または横画面表示に切り替わるように設定します。
スリープ	画面のバックライトが消灯するまでの時間を設定します。
スクリーンセーバー	スクリーンセーバーを設定します。 •  をタップするとテーマを変更できます。
フォントサイズ	フォントサイズを設定します。
通知LEDでお知らせ	メールの受信などを通知LEDの点滅でお知らせするかどうかを設定します。

ストレージ

1 ホーム画面で ► [設定]

2 [ストレージ]

- 表示される画面の項目をタップして設定してください。

機器メモリー	合計容量：内部ストレージの空き容量などを確認します。
SDカード	合計容量：microSDカードの空き容量などを確認します。
	SDカードのマウント解除：microSDカードの認識を解除して安全に取り外します。
	SDカードをマウント：microSDカードを認識させます。
	SDカード内データ削除：microSDカードをフォーマットして内容をすべて消去します。
外部USBストレージ	合計容量：USBストレージの空き容量などを確認します。
	USBストレージのマウント解除：USBストレージの認識を解除して安全に取り外します。
	USBストレージをマウント：USBストレージを認識させます。
	USBストレージ内データ削除：USBストレージをフォーマットして内容をすべて消去します。
その他	SDカードへデータ転送：機器メモリー（内部ストレージ）のデータをmicroSDカードへ転送します。
	リモートシェア：自宅のNASなどのリモートサーバーにあるファイルを、本製品にあるファイルと同様に扱うことができるように設定します。

お知らせ

- microSDカードやUSBストレージの認識状態により表示される項目は異なります。

電源管理

1 ホーム画面で ► [設定]

2 [電源管理]

- 表示される画面の項目をタップして設定してください。

STAMINAモード	画面のバックライト消灯中にアプリの動作を制限して電池の消費を抑えるかどうかを設定します。 STAMINAモードの設定に連動して、「残り待ち受け時間（見込み）」に残りの待受時間の目安が表示されます。
低バッテリーモード	電池残量が少なくなるときに一部の機能を無効にして節電を行うかどうかを設定します。
エリア連動Wi-Fi	登録されたWi-Fiネットワーク圏内に入ると、自動的にWi-Fiネットワークに接続し、電池消費を抑えることができます。
バックグラウンドデータ	画面のバックライトが消灯したときに一定間隔でデータを送信し、電池の持ちを良くします。
電池使用量	電池残量、電池使用量などを表示します。

アプリ

インストールされたアプリの管理や削除、メモリーの使用状況などを表示したり、設定を変更したりできます。

アプリ情報を管理する

1 ホーム画面で ► [設定] ► [アプリ]

2 管理したいアプリをタップ

- アプリのデータを削除したい場合は [データを削除] ▶ 注意文を確認して [OK] をタップします。
- [キャッシュを削除] をタップしてキャッシュを削除したり、[標準設定をクリア] をタップしてアプリの起動時の設定を削除してお買い上げ時の状態に戻したりすることもできます。

アプリを強制終了する

1 ホーム画面で  ▶ [設定] ▶ [アプリ]

2 強制終了したいアプリをタップ

3 [強制終了] ▶ 注意文を確認して [OK]

アプリを削除（アンインストール）する

- 削除（アンインストール）する前にアプリに保存されているデータも含めて、保存しておきたいコンテンツはすべてバックアップしてください。

1 ホーム画面で  ▶ [設定] ▶ [アプリ]

2 削除（アンインストール）したいアプリをタップ

3 [アンインストール] ▶ [OK]

🔔お知らせ

- プリインストールされているアプリは削除（アンインストール）できない場合があります。
- Google Playから入手したアプリはGoogle Playの画面から削除（アンインストール）することをおすすめします。

アプリを無効化する

削除（アンインストール）できない一部のアプリやサービスを無効化することができます。無効化したアプリはホーム画面やアプリ画面に表示されず、実行もされなくなりますが、アンインストールはされません。

1 ホーム画面で  ▶ [設定] ▶ [アプリ]

2 画面を左にフリック▶「すべて」タブを表示

3 無効化したいアプリをタップ

4 [無効にする] ▶ 注意文を確認して [OK]

🔔お知らせ

- アプリを無効化した場合、無効化されたアプリと連携している他のアプリが正しく動作しない場合があります。再度有効化（「アプリの設定をリセット」）することで正しく動作します。

アプリの設定をリセットする

すべてのアプリの無効化や、起動時の設定、バックグラウンドデータの制限などをリセットできます。

1 ホーム画面で  ▶ [設定] ▶ [アプリ]

2  ▶ [アプリの設定をリセット]

3 [設定リセット]

ユーザー設定

位置情報

1 ホーム画面で ► [設定]

2 [位置情報]

- 表示される画面の項目をタップして設定してください。

位置情報	位置情報のオン／オフを設定します。
モード	位置情報を特定するモードを設定します。
最近の位置情報リクエスト	最近の位置情報データを使用したアプリと、電池使用量が表示されます。
位置情報サービス	アプリに位置情報へのアクセスを許可するかどうかを設定します。

セキュリティ

1 ホーム画面で ► [設定]

2 [セキュリティ]

- 表示される画面の項目をタップして設定してください。

画面のロック	画面ロックの解除方法を設定します。
顔認識の精度を改善	フェイスアンロックの精度を改善します。
生体検知	フェイスアンロックでの解除時に、まばたきが必要かどうかを設定します。
パターンを表示する	パターン入力時にパターンを表示するかどうかを設定します。
自動ロック	画面のバックライトが消灯してから自動でロックがかかるまでの時間を設定します。
電源キーですぐにロック	 を押すと、すぐに画面ロックがかかるようにするかどうかを設定します。
ロック画面でウィジェット有効	ロック画面のウィジェットを有効にするかどうかを設定します。
所有者情報	ロック画面に表示する所有者の情報を入力します。 • 「ロック画面に所有者情報を表示」にチェックを入れると、ロック画面に所有者の情報が表示されます。
my Xperia	本製品を失くしたときに、位置を確認したり、データを削除またはロックするかどうかを設定します。
携帯電話の暗号化	内部ストレージを暗号化します。暗号化を行うと、電源を入れるたびにPINまたはパスワードの入力が必要になります。
SIMカードロック設定	SIMカードにPIN（暗証番号）を設定し、電源を入れたときにPINコードを入力することで、不正使用から保護できます。
パスワードの表示	PIN／パスワードの入力画面で、「・」が表示される前に入力した文字を表示するかどうかを設定します。
機器管理機能	デバイス管理機能を有効にするかどうかを設定します。
提供元不明のアプリ	提供元不明アプリをダウンロードする前にインストールを許可するかどうかを設定します。アプリによっては発行元が不明な場合があります。 • 本製品と個人データを保護するため、信頼できる発行元からのアプリのみダウンロードしてください。
アプリの確認	損害をもたらす可能性のあるアプリのインストールを禁止したり、インストール前に警告したりするかどうかを設定します。
ストレージのタイプ	認証情報ストレージのタイプを表示します。
信頼できる認証情報	信頼できるCA証明書を表示します。

機器メモリーかSDカードからインストール	暗号化された証明書をインストールします。
認証ストレージのデータ削除	認証情報ストレージからすべての証明書や認証情報、VPNの設定を削除します。

！ 注意

- 表示される項目は、「画面のロック」の設定によって異なります。
- 暗号化には時間がかかります。フル充電状態で充電しながら開始し、暗号化が完了するまで充電を継続してください。
- 暗号化を解除するには、「バックアップとリセット」の「データの初期化」で本製品をリセットし、お買い上げ時の状態に戻す必要があります。

画面ロックの解除方法を設定する

電源を入れたり、スリープモードから復帰する際の画面ロックの解除を設定して、セキュリティを強化します。

1 ホーム画面で ► [設定] ► [セキュリティ] ► [画面のロック]

2 設定したい解除方法をタップ

- 以降は画面の指示に従って操作してください。

！ 注意

- 画面のロック解除パターン、PIN、パスワードはお忘れにならないようお気をつけください。

画面ロックをかける

⓪を押してスリープモードにする、または自動的に画面のバックライトが消灯すると、画面ロックがかかります。

- 画面ロックを解除する場合は、⓪を押して画面のバックライトを点灯 ► 画面ロックの解除方法を入力します。
- 一度設定した画面ロックをかからない設定にする場合は、ホーム画面で  ► [設定] ► [セキュリティ] ► [画面のロック] ► 現在のロック解除パターン／PIN／パスワードを入力 ► [設定しない] をタップします。

画面ロックの解除方法を忘れた場合

画面ロックの解除を5回続けて間違えると、メッセージが表示されます。[OK] をタップすると、30秒後に再試行できます。

- 画面ロックの解除方法を「パターン」に設定して、Googleアカウントを設定している場合、[パターンを忘れた場合] ► Googleアカウントとパスワードを入力 ► [ログイン] をタップして画面ロックを解除し、新しくロック解除方法を設定し直してください。

💡お知らせ

- 本製品に複数のGoogleアカウントを設定している場合、そのいずれかのGoogleアカウントとパスワードを入力して画面ロックを解除できます。
- Googleアカウントやパスワードを忘れてしまった場合は、Googleのサイトから設定し直してください。

SIMカードロックを設定する

SIMカードにPIN（暗証番号）を設定し、電源を入れたときにPINコードを入力することで、不正使用から保護できます。

1 ホーム画面で ► [設定] ► [セキュリティ] ► [SIMカードロック設定]

2 「SIMカードをロック」にチェックを入れる

3 PINコードを入力 ► [OK]

PINコードを変更する

・SIMカードロックを設定しているときのみ変更できます。

- 1 ホーム画面で  ► [設定] ► [セキュリティ] ► [SIMカードロック設定] ► [SIM PINの変更]
- 2 現在のPINコードを入力 ► [OK]
- 3 新しいPINコードを入力 ► [OK]
- 4 もう一度新しいPINコードを入力 ► [OK]

言語と入力

- 1 ホーム画面で  ► [設定]

2 [言語と入力]

・表示される画面の項目をタップして設定してください。

地域／言語	使用する言語を変更します。
スペルチェッカー	スペルチェックを行うかどうかを設定します。
ユーザー辞書	任意の単語を辞書に登録します。
現在の入力方法	入力方法を選択します。
外国語キーボード	→ P.29
中国語キーボード	
POBox Plus	
Google 音声入力	
音声検索	Google 音声検索時に使用する言語や音声出力方法、不適切な語句のブロックなどを設定します。
テキスト読み上げ	テキスト読み上げエンジンを設定したり、読み上げの速度の変更やサンプルを再生します。 ・テキスト読み上げエンジンは日本語には対応していません。
ポインターの速度	マウスやトラックパッド使用時のポインターの速度を設定します。

💡お知らせ

- ・間違った言語を選択して表示内容が読めなくなった場合は、ホーム画面で  ►  ► 表示されるメニューで最初のアイテムを選択 ► 設定したい言語を選択 ► [OK] をタップします ([OK] は選択した言語によって異なります)。

バックアップとリセット

1 ホーム画面で ► [設定]

2 [バックアップとリセット]

- ・表示される画面の項目をタップして設定してください。

データのバックアップ	アプリの設定やデータなどをGoogleサーバーにバックアップするかどうかを設定します。
バックアップアカウント	Googleサーバーにバックアップするアカウントを設定します。
自動復元	アプリの再インストール時に、バックアップ済みの設定やデータを復元するように設定します。
データの初期化	本製品をリセットします。 ダウンロードしたアプリを含む、すべてのデータ、アカウントなどが削除され、本製品は初期状態（お買い上げ時の状態）に戻ります。 ・「内部ストレージ内データの削除」にチェックを入れると、「アルバム」「ムービー」などのアプリにプリインストールされているコンテンツもすべて削除されます。 ・必ず本製品の重要なデータをバックアップしてから、初期化を行ってください。

セットアップガイド

Wi-Fi接続やアカウントの設定などができます。

1 ホーム画面で ► [設定] ► [セットアップガイド]

- ・以降は画面の指示に従って操作してください。

アカウント

自動同期

オンラインサービス上の情報を同期してパソコンなどからも情報を表示、編集できます。
・あらかじめ同期するオンラインサービスのアカウントを設定しておく必要があります。

1 ホーム画面で ▶ [設定] ▶ 「自動同期」の をタップまたは右にドラッグ ▶ [OK]

- ・アカウントによっては、同期する項目を選択することができます。

🔔お知らせ

- ・アカウントによっては、自動同期がオフのときに手動で同期ができます。設定メニューでアカウントの種類を選択 ▶ 同期するアカウントを選択 ▶ 同期する項目をタップします。

アカウントを設定する

オンラインサービスのアカウントを設定／削除できます。

- ・設定したアカウントをタップして手動で同期したり、自動同期する項目を選択したりすることができます。

Googleアカウントを設定する

Googleアカウントを設定すると、GmailやGoogle PlayなどのGoogleサービスを利用できます。

なお、複数のGoogleアカウントを設定できます。

1 ホーム画面で ▶ [設定] ▶ [アカウントを追加] ▶ [Google]

2 画面の指示に従ってGoogleアカウントを設定

🔔お知らせ

- ・「Googleサービス」画面で「Googleアカウントにデータをバックアップします。」にチェックを入れて登録したGoogleアカウントは、バックアップアカウントとして登録されています。

その他のアカウントを設定する

1 ホーム画面で ▶ [設定] ▶ [アカウントを追加]

2 追加したいアカウントの種類をタップ

- ・以降は画面の指示に従って操作してください。

アカウントを削除する

1 ホーム画面で ▶ [設定] ▶ アccountの種類を選択 ▶ 削除したいアカウントを選択

2 ▶ [アカウントを削除] ▶ [アカウントを削除]

システム

日付と時刻

- ・日付と時刻を手動で設定する場合は、あらかじめ「日付と時刻を自動設定」のチェックを外してネットワーク自動設定を解除する必要があります。

1 ホーム画面で ► [設定]

2 [日付と時刻]

- ・表示される画面の項目をタップして設定してください。

日付と時刻を自動設定	ネットワーク上の日付・時刻情報を使って自動的に補正します。
タイムゾーンを自動設定	ネットワーク上のタイムゾーン情報を使って自動的に補正します。
日付設定	日付を手動で設定します。
時刻設定	時刻を手動で設定します。
タイムゾーンの選択	タイムゾーンを設定します。
24時間表示	チェックを入れると24時間表示、チェックを外すと12時間表示となります。
日付形式	日付の表示形式を選択します。

ユーザー補助

1 ホーム画面で ► [設定]

2 [ユーザー補助]

- ・表示される画面の項目をタップして設定してください。

TalkBack	ユーザー補助サービス (TalkBack) を設定します。 ・日本語には対応していません。
字幕	字幕を表示するかどうかを設定したり、字幕の言語や文字サイズなどを設定します。
拡大操作	画面を3回タップすると拡大／縮小するかどうかを設定します。
大きい文字サイズ	文字サイズを大きくするかどうかを設定します。
電源ボタンで通話を終了	⓪ を押して通話を終了するかどうかを設定します。
画面の自動回転	本製品の向きに合わせて、自動的に縦画面表示または横画面表示に切り替わるように設定します。
パスワードの音声出力	パスワードを音声で出力するかどうかを設定します。
ショートカット	ショートカットを使用するかどうかを設定します。 ・ショートカットをオンにすると、⓪ を1秒以上押す ► 2本の指で画面をロングタッチしてユーザー補助機能をオンにできます。
テキスト読み上げ	テキスト読み上げエンジンを設定したり、読み上げの速度の変更やサンプルを再生します。 ・テキスト読み上げエンジンは日本語には対応していません。
長押し感知までの時間	画面をロングタッチして操作するときの反応速度を設定します。

💡お知らせ

- ・TalkBackのタッチガイド機能について
TalkBackをオンにするとタッチガイド機能もオンになります。
タッチガイド機能とは、タップした位置にあるアイテムの説明を読み上げたり、表示したりすることができる機能です。
- ・タッチガイド機能をオンにすると、通常の操作とは異なった方法で本製品の操作ができます。
項目を選択する場合は、一度タップしてからダブルタップします。ドラッグする場合は、一度タップしてからダブルタップして、そのまま指を離さないで目的の方向へなぞります。
- ・タッチガイド機能のみをオフにする場合は、ホーム画面で  ► [設定] ► [ユーザー補助] ► [TalkBack] ► [設定] ► 「タッチガイド」のチェックを外す ► [OK] をタップします。

印刷

1 ホーム画面で ► 【設定】

2 【印刷】

- 表示される画面の項目をタップして設定してください。

クラウド プリント	Googleクラウド プリントを使用して、本製品から自宅や職場のプリンタに印刷できるように設定します。 • あらかじめGoogleアカウントを設定する必要があります。
-----------	--

端末情報

1 ホーム画面で ► 【設定】

2 【端末情報】

- 表示される画面の項目をタップして設定してください。

ソフトウェア更新	→P.88
機器診断	「Diagnostics」アプリを利用しテストを実行して、本製品の状態の目安や機器情報を確認できます。
機器の状態	電池の状態、電池残量などを確認できます。
法的情報	オープンソースライセンスやGoogle利用規約などを確認できます。
モデル番号	バージョンや各番号を確認できます。
Androidバージョン	
ベースバンドバージョン	
カーネルバージョン	
ビルド番号	

ストレージ構成

本体（内部ストレージ）

microSDカードとは別に本製品の内部ストレージにデータを保存できます。アプリによっては、保存先をmicroSDカード／内部ストレージのどちらかを選択することができる場合があります。

microSDカード（外部ストレージ）

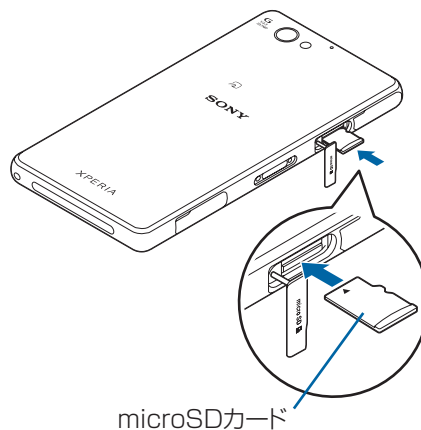
データをmicroSDカードに保存したり、microSDカード内のデータを本製品に取り込んだりできます。microSDカードは互換性のある他の機器でも使用できます。

- microSDカードは同梱されていません。必要に応じて別途ご購入ください。
- 本製品では市販の2GBまでのmicroSDカード、32GBまでのmicroSDHCカード、128GBまでのmicroSDXCカードに対応しています。
- 対応のmicroSDカードは各microSDカードメーカーへお問い合わせください。
- microSDカードの使用中は、microSDカードを取り外したり、本製品の電源を切ったりしないでください。データの消失、故障の原因となります。

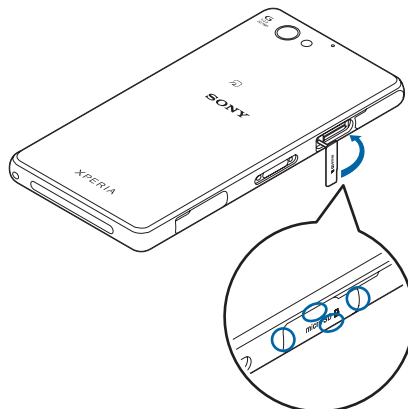
microSDカードを取り付ける

1 microSDカード挿入口カバーを開き、microSDカードの挿入方向を確認して、カチッと音がするまでまっすぐにゆっくりと差し込む

- microSDカードの金属端子面を下にして差し込みます。



2 microSDカード挿入口カバーを閉じて、○部分をしっかりと押し、本体とすき間がないことを確認



microSDカードを取り外す

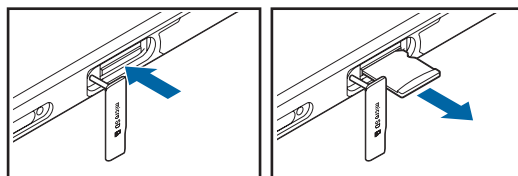
- microSDカードは、必ずマウント（読み書き可能状態）を解除してから取り外してください。

1 ホーム画面で ▶ **【設定】 ▶ 【ストレージ】 ▶ 【SDカードのマウント解除】 ▶ 【OK】**

- マウント解除を行うと、ステータスバーに「SDカードのマウントを解除済み」と表示され、microSDカードが読み書きできなくなったことをお知らせします。

2 microSDカード挿入口カバーを開き、microSDカードをカチッと音がするまで奥へ押し込み、ゆっくり引き抜く

- ステータスバーに「SDカードが取り外されています」と表示されます。



3 microSDカード挿入口カバーを閉じてしっかりと押し、本体とすき間がないことを確認

ファイル操作

「File Commander」アプリを利用して、保存されている静止画や動画、音楽など、さまざまなデータを表示・管理できます。

ファイルやフォルダの操作

ファイルを表示／再生する

- ホーム画面で  ▶ **【File Commander】**
- 項目を選択 ▶ 必要に応じてフォルダをタップ
- ファイルをタップ
 - 対応するアプリでデータが表示されます。

フォルダを新規作成する

- ホーム画面で  ▶ **【File Commander】**
- 項目を選択 ▶ 必要に応じてフォルダをタップ
- 【フォルダ】 ▶ フォルダ名を入力 ▶ 【OK】**

フォルダ名またはファイル名を変更する

- ホーム画面で  ▶ **【File Commander】**
- 項目を選択 ▶ 必要に応じてフォルダをタップ
- 名前を変更したいフォルダまたはファイルをロングタッチ ▶ **【詳細】 ▶ 【名前変更】**
- フォルダ名またはファイル名を入力 ▶ **【OK】**

フォルダまたはファイルを削除する

- ホーム画面で  ▶ **【File Commander】**
- 項目を選択 ▶ 必要に応じてフォルダをタップ

3 削除したいフォルダまたはファイルをロングタッチ

4 [削除] ▶ [OK]

フォルダまたはファイルを移動／コピーする

フォルダまたはファイルを本製品と microSD カード間でコピー／移動できます。

1 ホーム画面で ▶ [File Commander]

2 項目を選択 ▶ 必要に応じてフォルダをタップ

3 移動／コピーするフォルダまたはファイルをロングタッチ

4 [切り取り] / [コピー]

5 任意の場所で [貼り付け]

データ検索

1 ホーム画面で ▶ [File Commander]

2 項目を選択

3 [検索] ▶ フォルダ名またはファイル名を入力

4 入力に従って表示される検索結果から、確認したいデータをタップ

Bluetooth機能

Bluetooth機能は、パソコンやハンズフリーヘッドセットなどのBluetooth機器とワイヤレス接続できる技術です。

- すべてのBluetooth機器とのワイヤレス通信を保証するものではありません。

🔔お知らせ

- Bluetooth機能をオンにして本製品の電源を切ると、Bluetooth機能もオフになります。再度電源を入れると、Bluetooth機能は自動的にオンになります。
- 使用しない場合は電池の消耗を抑えるためにBluetooth機能をオフにしてください。

無線LAN対応機器との電波干渉について

本製品のBluetooth機能と無線LAN対応機器は、同一周波数帯（2.4GHz）を使用するため、無線LAN対応機器の近辺で使用すると電波干渉が発生し、通信速度の低下、雑音や接続不能の原因になる場合があります。この場合、次の対策を行ってください。

- Bluetooth機器と無線LAN対応機器の位置を離してください。必要な距離は機器によって異なります。
- 改善しない場合は、Bluetooth機器または無線LAN対応機器の電源を切ってください。

本製品を検出可能にする

1 ホーム画面で ▶ [設定] ▶ 「Bluetooth」の をタップまたは右にドラッグ

- ステータスバーに  が表示されます。

2 [Bluetooth]

3 本製品のデバイス名をタップ

🔔お知らせ

- 手順3で  をタップすると、デバイス名の変更や検出可能時間の設定などができます。

Bluetooth機器とペア設定（ペアリング）する

本製品とBluetooth機器を接続するには、ペア設定（ペアリング）が必要です。

- 1 ホーム画面で  ▶ **【設定】 ▶ 【Bluetooth】 ▶ 【機器の検索】**
- 2 ペア設定を行うBluetooth機器名をタップ▶ **「ペア設定リクエスト」画面でパスコードを確認▶ 【ペア設定する】**
 - ・他のBluetooth機器から接続要求を受けた場合は「ペア設定リクエスト」画面でパスコードを確認▶ **【ペア設定する】** をタップします。

💡お知らせ

- ・ペア設定を行う機器側で、Bluetooth機能およびBluetooth検出機能がオンになっていることを確認してください。
- ・一度ペア設定を行うと、ペア設定情報は記録されます。
- ・ペア設定を行うときに、パスコード（PIN）の入力が必要になる場合があります。本製品のパスコード（PIN）は「0000」です。「0000」を入力してもペア設定できない場合は、Bluetooth機器の取扱説明書をご覧ください。

Bluetooth機器のペア設定を解除する

- 1 ホーム画面で  ▶ **【設定】 ▶ 【Bluetooth】**
- 2 ペア設定を解除したいBluetooth機器名の  ▶ **【ペアを解除】**

Bluetooth機器と接続する

- 1 ホーム画面で  ▶ **【設定】 ▶ 【Bluetooth】 ▶ 【機器の検索】**
- 2 接続したいBluetooth機器名をタップ

💡お知らせ

- ・接続中のBluetooth機器名の  をタップすると、接続したBluetooth機器の状態を確認したり、設定を変更したりすることができます。

Bluetooth機器の接続を解除する

- 1 ホーム画面で  ▶ **【設定】 ▶ 【Bluetooth】**
- 2 接続中のBluetooth機器名をタップ
- 3 **【OK】**
 - ・再接続するときは、Bluetooth機器名をタップします。

Bluetooth機能でデータを送信する

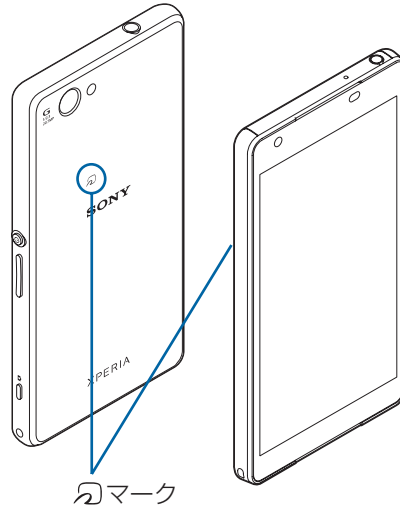
- 1 各アプリの共有メニューで **【Bluetooth】**
- 2 送信する相手のBluetooth機器名をタップ

Bluetooth機能でデータを受信する

- 1 相手のBluetooth機器からデータを送信
 - ・ステータスバーに  が表示されます。
- 2 ステータスバーを下にドラッグ▶ **【Bluetooth：ファイル着信】 ▶ 【受信】**

NFC通信

NFCを搭載した携帯電話などの機器との間でデータを送信／受信できます。



- データを送信／受信するにはあらかじめNFCのReader/Writer, P2P機能をオンにしてください。
- 本製品と携帯電話などを平行にしてマークを向かい合わせ、送信／受信が終了するまで動かさないようにしてください。
- 送信／受信の操作や送信／受信できるデータについては、対応するアプリによって異なります。画面の指示に従って操作してください。
- データの送信／受信時に利用規約画面などが表示された場合は、内容をご確認の上、画面の指示に従って操作してください。
- マークを向かい合わせても、送信／受信を失敗する場合があります。失敗した場合は、送信／受信の操作を再度行ってください。
- すべてのNFC搭載機器との通信を保証するものではありません。

対向機にかざす際の注意事項

読み取り機やNFCモジュールが内蔵された機器など、対向機にかざすときは、次のことにご注意ください。

- マークを対向機の中心に平行になるようにかざしてください。中心にかざしても読み取れない場合は、本製品を少し浮かしたり、前後左右にずらしてかざしてください。
- マークと対向機の間に金属物があると読み取れないことがあります。また、ケースやカバーに入れたことにより通信性能に影響を及ぼす可能性がありますので、読み取れない場合はケースやカバーから取り外してください。

NFCのReader/Writer, P2P機能をオンにする

1 ホーム画面で ► [設定] ► [その他の設定]

2 [NFC／おサイフケータイ 設定] ► [Reader/Writer, P2P] ► [OK]

- 「Reader/Writer, P2P」「Android Beam」にチェックが入ります。
- ステータスバーに  が表示されます。

◆お知らせ

- 「NFC／おサイフケータイ ロック」設定中は、NFCのReader/Writer, P2P機能をオンにできません。

ワンタッチ機能でデータを送信／受信する

NFCを搭載したAndroid機器との間でAndroid Beamを利用すると、簡単な操作で画像や音楽、本製品で撮影した写真や動画を送ったり受け取ったりすることができます。

データを送信する

- 1 NFCのReader/Writer, P2P機能がオンになっていることを確認
- 2 送信したいデータを画面に表示させる
- 3 受信側の端末と、マークを向かい合わせる
 - ・「タップしてビーム」と表示されます。
- 4 小さくなった画面をタップ

データを受信する

- 1 NFCのReader/Writer, P2P機能がオンになっていることを確認
- 2 送信側の端末で、データ送信の操作を行う
- 3 送信側の端末と、マークを向かい合わせる
 - ・ステータスバーにが表示されます。ステータスバーを下にドラッグ▶ [ビームが完了しました] をタップすると、受信データに対応したアプリが起動します。画面の指示に従って操作してください。

パソコンとの接続

本製品とパソコンを接続すると、パソコンから本製品のデータのコピーや移動、削除などの操作ができるようになります。

- ・著作権で保護された画像や音楽などは操作ができない場合があります。

microUSBケーブルでパソコンに接続する

microUSBケーブルで接続したパソコンから、本製品の内部ストレージやmicroSDカードのファイルにアクセスできるようになります。

- ・パソコンのOSは、Microsoft Windows Vista、Microsoft Windows 7、Microsoft Windows 8／8.1に対応しています。
- ・Macで操作するには「Bridge for Mac」をダウンロードする必要があります。
対応機種や推奨システムなどについて詳しくは、次のホームページをご覧ください。
<http://www.sonymobile.co.jp/support/software/bridge-for-mac/>
- ・お買い上げ時は「メディア転送モード（MTP）」でパソコンに接続されます。
- ・「ファイル転送モード（MSC）」などを使用するには、microSDカードを本製品に取り付けてご利用ください。

1 microUSB 接続端子カバーを開き、microUSB プラグを水平に差し込む

2 microUSB ケーブルのUSB プラグをパソコンのUSB ポートに差し込む

- ・初めてmicroUSBケーブルを接続したときは、パソコンに本製品のドライバソフトがインストールされます。インストール完了までしばらくお待ちください。
- ・本製品上に「ソフトウェアをインストール」画面が表示されたら、[スキップ] または [キャンセル] をタップしてください。

メディア転送モード（MTP）の場合：パソコン上の画面に本製品がポータブルデバイスとして表示され、本製品の内部ストレージおよびmicroSDカードにアクセスできるようになります。

ファイル転送モード（MSC）の場合：パソコン上の画面に本製品がリムーバブルディスクとして表示され、本製品のmicroSDカードにアクセスできるようになります。

🔔お知らせ

- ・パソコンに接続したときに表示される画面は、パソコンの動作環境（OS）によって異なる場合があります。
- ・ホーム画面で  ▶ [設定] ▶ [Xperia™ 接続設定] ▶ [USB接続設定] をタップすると、USB接続モードの接続状態の確認や接続設定を変更できます。
- ・「USB接続モード」を「ファイル転送モード（MSC）」に切り替えてパソコンに接続しているときは、本製品側でmicroSDカードにアクセスできなくなります。そのため、「カメラ」「アルバム」などのアプリで、microSDカードを使用する機能が利用できない場合があります。

microUSBケーブルを安全に取り外す

- ・データ転送中にmicroUSBケーブルを取り外さないでください。データが破損する恐れがあります。

メディア転送モード（MTP）の場合

1 データ転送中でないことを確認し、microUSBケーブルを取り外す

ファイル転送モード（MSC）の場合

1 ステータスバーを下にドラッグ

2 [SDカードが接続されました]

3 microUSBケーブルを取り外す

Wi-Fi上でパソコンを接続する

Wi-Fi上でペア設定したパソコンから、本製品の内部ストレージやmicroSDカードのファイルにアクセスすることができます。

- ・パソコンのOSは、Microsoft Windows Vista、Microsoft Windows 7またはMicrosoft Windows 8／8.1である必要があります。その他のOSではペア設定できません。
- ・Microsoft Windows 8.1の場合は、microUSBケーブルを取り外した状態でPC Companionの「接続方法」をクリックし、表示される画面の指示に従って操作してください。PC Companionについて詳しくは、次のホームページをご覧ください。
<http://www.sonymobile.co.jp/support/>
- ・Wi-Fiネットワーク（アクセスポイント）のプライバシーセパレータ機能が有効になっている場合はペア接続ができません。詳しくは、アクセスポイントの取扱説明書をご確認ください。

Wi-Fiネットワーク内のパソコンとペア設定する

1 ペア接続したいパソコンを、Wi-Fiネットワークに接続

2 本製品を、パソコンが接続されたWi-Fiネットワークに接続（P.57）

3 本製品をmicroUSBケーブルでパソコンに接続

- ・本製品上に「ソフトウェアをインストール」画面が表示されたら、[スキップ] または [キャンセル] をタップしてください。

4 パソコンで「コンピューター」画面を表示▶ ポータブルデバイスとして表示されている本製品のアイコンを右クリック▶ 「ネットワーク構成」▶ 「次へ」

5 本製品のポップアップ画面で [ペア]

6 パソコンの「ポータブルデバイスのネットワーク構成」画面で「完了」

7 microUSBケーブルを取り外す

🔔お知らせ

- ・パソコンに接続したときに表示される画面は、パソコンの動作環境（OS）によって異なる場合があります。

Wi-Fiネットワーク内のパソコンと接続する

1 ホーム画面で  ▶ **【設定】 ▶ 【Xperia™接続設定】 ▶ 【USB接続設定】 ▶ 【ワイヤレスメディア転送】 欄の「ホスト名」（パソコン名）をタップ**

2 **【接続】**

- Wi-Fiネットワーク上でパソコンと「メディア転送モード（MTP）」で接続され、ファイルをやりとりできるようになります。
- 接続を切断するには、[切断] をタップします。
- 接続設定を解除するには、[ペア設定を解除] ▶ [OK] をタップします。接続設定を解除するまでは、Wi-Fiネットワークのエリア内外で接続／切断を繰り返しても、接続設定自体は継続されます。

DLNA 機器との接続

Wi-Fi機能を利用して、他のクライアント（DLNA：Digital Living Network Alliance）機器と本製品のメディアファイルを共有し再生できます。

- あらかじめ他のDLNA機器と同一のネットワークでWi-Fi接続を設定しておきます。

メディアサーバーを設定する

1 ホーム画面で  ▶ **【設定】 ▶ 【Xperia™接続設定】 ▶ 【メディアサーバー設定】**

2 **「メディア共有」の  をタップまたは右にドラッグ**

- ステータスバーに  が表示されます。
- [サーバー名の変更] をタップすると、DLNA機器上で見える本製品（メディアサーバー）の名称を変更できます。

3 **DLNA機器のアプリで本製品へ接続**

- 本製品にメディアサーバーへのアクセス要求が通知されます。

4 **本製品のメディアサーバー設定画面でアクセス許可待ちのDLNA機器をタップ ▶ アクセスレベルを設定**

- DLNA機器が登録されます。

5 **DLNA機器で本製品のメディアファイルを選択して再生**

DLNA 機器のメディアファイルを本製品で再生する

1 ホーム画面で **【Walkman】 / 【アルバム】 / 【ムービー】 のいずれかをタップ**

2 **画面の左端を右にフリック ▶ 【機器】 ▶ デバイスを選択**

3 **フォルダを選択 ▶ メディアファイルを選択**

本製品のメディアファイルをDLNA機器で再生する

1 ホーム画面で **【Walkman】 / 【アルバム】 / 【ムービー】 のいずれかをタップ**

2 **再生したいファイルをタップ ▶  ▶ 【Throw】**

3 **デバイスの一覧画面に表示されたデバイスをタップ**

故障かな？と思ったら

気になる症状があるときは、次の項目をご確認ください。

また、ホーム画面で  ► [Diagnostics] をタップして本製品の状態の目安を確認できます。

電源

電源が入らない

- 電池切れになっていませんか。→P.5
- 電源を切った状態から起動するときは、本製品の起動に時間がかかる場合があります。

画面が動かなくなり、電源が切れない

- 操作ができなくなった場合は、SIMカード挿入口カバーを開く ► 赤色のOFFボタンを約3秒間押し、本製品が3回振動した後に離すと本製品の電源を強制的に切ることができます。
◎ と音量キーの上を同時に約3秒間押し、3回振動した後に指を離しても本製品の電源を強制的に切ることができます。→P.8
- この操作を行うとデータや設定した内容などが消える場合があります。

充電

充電ができない（通知LEDが点灯しない、電池アイコンが充電中に変わらない）

- ACアダプターの電源プラグがコンセントに正しく差し込まれていますか。
- ACアダプターと本製品は正しく接続されていますか。→P.7
- 卓上ホルダを使用する場合、本製品の卓上ホルダ用接触端子は汚れていませんか。
汚れたときは、端子部分を乾いた綿棒などで拭いてください。
- パソコンに接続して充電している場合、パソコンの電源が入っていますか。→P.7
- 充電しながら操作を行うと本製品の温度が上昇することがあります。
温度が上昇すると充電が停止したり、充電が完了しない場合があります。本製品の温度が下がってから充電を行ってください。

通知LEDが赤色に点滅し、操作ができない

- 電池残量が少ない場合は充電してください。→P.5

端末操作

操作中・充電中に熱くなる

- 充電しながら操作すると、本製品やACアダプターが熱くなることがありますが、動作上問題ありません。

電池の使用時間が短い

- 内蔵電池の使用時間は、使用環境や劣化度により異なります。→P.5

タップしたり、キーを押したりしても動作しない

- 電源が切れていませんか。→P.8
- 「画面のロック」を設定していませんか。→P.65
- タッチスクリーンの正しい使いかたを確認してください。→P.10
- ロック画面で上下または左右にスワイプしても画面ロックを解除できない場合は、TalkBackのタッチガイド機能をオンにしている可能性があります。TalkBackのタッチガイド機能をオンにしている場合は、2本の指で画面を上下または左右にスワイプしてください。→P.70
- システムが停止している可能性があるため、いったん電源を切り、入れ直して改善するか確認してください。→P.8

タップしたり、キーを押したときの画面の反応が遅い

- 大量のデータが保存されているときや、本製品とmicroSDカードの間で容量の大きいデータをやりとりしているときなどに起きる場合があります。

動作が不安定

- お買い上げ後にインストールしたアプリにより不安定になっている可能性があります。セーフモード（お買い上げ時の状態に近い状態で起動させる機能）で改善される場合には、インストールしたアプリを削除（アンインストール）することで症状が改善される場合があります。
セーフモードを起動するには、電源を切った状態で  を1秒以上押し、XPERIAロゴが表示されたら音量キーの下を長く押し続けてください。セーフモードが起動すると画面左下に「セーフモード」と表示されます。
セーフモードを終了するには、電源を入れ直してください。
電源を入れている状態で  を1秒以上押し ▶ 「電源を切る」をロングタッチ ▶ [OK] をタップしても、セーフモードで起動できます。
 - 事前に必要なデータをバックアップしてください。
 - 作成したウィジェットが消去される場合があります。
 - 通常で利用になる場合はセーフモードを起動しないでください。

アプリが正しく動作しない（起動できない、エラーが頻繁に起こるなど）

- アプリが無効化されていませんか。→P.64
- アプリによっては、本製品の言語設定で選択された言語に対応しておらず、異なる言語で表示される場合があります。

削除（アンインストール）できないアプリがある

- アプリによっては、アンインストールできないものがあります。

SIMカードが認識されない

- SIMカードを正しい向きで挿入していますか。→P.4

時計がずれる

- 長い間電源を入れた状態にしていると時計がずれる場合があります。
 - 「日付と時刻を自動設定」「タイムゾーンを自動設定」にチェックが入っているかを確認してください。→P.70
 - 続いて、電波の良い場所で電源を入れ直してください。→P.8

お買い上げ時の状態に戻したい

- 「バックアップとリセット」からデータの初期化を行ってください。→P.68
 - ダウンロードしたアプリを含むすべてのデータやアカウントなどが削除され、初期状態（お買い上げ時の状態）に戻ります。
 - 重要なデータはバックアップしてから初期化してください。

画面

ディスプレイが暗い

- 「スリープ」を短い時間で設定していませんか。→P.62
- 「画面の明るさ」を変更していませんか。→P.62
- 「画面の明るさ」で「明るさを自動調整」にチェックを入れている場合は、周囲の明るさに応じて画面の明るさが変わります。→P.62
- 「低バッテリーモード」を設定していませんか。→P.63
- 近接センサーをシールなどでふさいでいませんか。→P.3
- 本製品の温度が高くなるとディスプレイが暗くなる場合があります。

表示されない点がある

- 一部の画素（点）が表示されない場合もありますが、故障ではありません。

本製品の向きを変えても画面表示が自動で切り替わらない

- 「画面の自動回転」がオフになっていませんか。→P.11

画面ロックの設定が解除できない

- Googleアカウントとパスワードを入力して画面ロックを解除できる場合があります。→P.66

音

スピーカーの音が割れる

- 「音量」を確認してください。→P.61
- 画面を回転させると音声途切れる場合があります。

キー操作時にタップ音がする

- 「タッチ操作音」がオンになっていませんか。→P.62

映像

映像が途切れる／コマ落ちする／映像と音声がずれる

- ・ファイル形式は対応していますか。→P.89
- ・一度電源を切ってから、再度電源を入れてください。→P.8
- ・データが破損している可能性があります。
- ・他のアプリが使用中になっていないか確認してください。他のアプリを使用中の場合は  をタップして終了してください。→P.23

Wi-Fi

Wi-Fiネットワークに接続できない

- ・Wi-Fi機能がオフになっていませんか。→P.57
- ・Wi-Fiネットワークの接続設定を確認してください。→P.57
- ・通信機器間に電波をさえぎる障害物がないか、距離が離れすぎでないか確認してください。

通話

着信音が鳴らない

- ・音量の「着信音と通知音」を最小にしていますか。→P.61
- ・マナーモードを設定していませんか。→P.11
- ・伝言メモの応答時間設定を0秒にしていますか。→P.32

通話ができない

- ・電波の混み具合により、多くの人が集まる場所では電話やメールが混み合い、つながりにくい場合があります。場所を移動するか、時間をずらしてかけ直してください。

音声

通話中、相手の声が聞こえにくい、相手の声が大きすぎる

- ・通話音量を変更していませんか。→P.31
- ・通話音質を設定すると通話中の音質を調整できます。→P.33
- ・スピーカー音拡張設定、ゆっくりモードをオンにすると相手の声が聞き取りやすくなります。→P.33

メール

メールを自動で受信しない

- ・Eメールアカウントの設定で「確認頻度」を「手動」に設定していませんか。→P.39

おサイフケータイ

おサイフケータイが使えない

- ・NFC／おサイフケータイ ロックを設定していませんか。→P.42
- ・本製品の  マークがある位置を読み取り機にかざしていますか。→P.42

カメラ

カメラで撮影した写真や動画がぼやける

- ・カメラのレンズにくもりや汚れが付着していないか、フィルムを貼り付けていないか確認してください。
- ・撮影モードを「プレミアムおまかせオート」に切り替えてください。→P.47
- ・撮影モードが「マニュアル」のときは、フォーカスモードを利用してピントを合わせることができます。→P.48
- ・撮影時の設定でオプションメニューから手ブレ補正／電子式手ブレ補正を設定して撮影してください。→P.48
- ・人物を撮影するときは、顔検出を使用してください。→P.46

データ管理

データ転送が行われない

- USBハブを使用していると、正しく動作しない場合があります。

microSDカードに保存したデータが表示されない

- microSDカードを取り付け直してください。→P.72

Bluetooth機能

Bluetooth機器と接続できない

- Bluetooth機器を検出可能にし、本製品からペア設定を行ってください。→P.74
- Bluetooth機器とペア設定を解除し、再度同じBluetooth機器と接続する場合は、一度Bluetooth機器と本製品両方のペア設定を解除してください。→P.75

GPS機能

GPSサービスが設定できない

- GPSの電波状況の良い、上空の見晴らしの良い場所に移動してください。

保証とアフターサービス

保証書

この製品には保証書が添付されていますので、お買い上げの際お買い上げ店でお受け取りください。

- 所定事項の記入および記載内容をお確かめの上、大切に保存してください。
- 保証期間は、お買い上げ日より1年間です。

アフターサービス

保証期間中の修理は

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。

保証期間経過後の修理は

修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理させていただきます。

部品の保有期間について

当社では、本製品の補修用性能部品（製品の機能を維持するために必要な部品）を、製造打ち切り後3年間保有しています。この部品保有期間を修理可能の期間とさせていただきます。

取扱上のご注意

- お手入れは乾いた柔らかい布で拭いてください。
 - 乾いた布などで強く擦ると、傷がつく場合があります。
 - アルコール、シンナー、ベンジン、洗剤などで拭くと、表面の仕上げを傷めることがあります。
- 接続端子が汚れると接触が悪くなり、電源が切れたり充電がされない場合がありますので、接続端子は乾いた綿棒などで時々拭いてください。
- 極端な高温、低温は避けてください。
温度は5℃～35℃、湿度は45%～85%の範囲でご使用ください。
- 一般の電話機やテレビ・ラジオなどの近くで使用すると影響を及ぼす場合がありますので、なるべく離れてご使用ください。
- カメラを直射日光の当たる場所に放置しないでください。
素子の退色・焼付きを起こす場合があります。
- 磁気データや磁気を帯びたものに近づけないでください。
キャッシュカードやクレジットカードなどの磁気データが消えたり、本製品の誤動作の原因となります。
- フル充電や電池残量が充分でない状態で保管すると内蔵電池の性能低下の原因となります。
電池残量が40パーセント程度での保管をおすすめします。

防水／防塵性能

SIMカード挿入口カバーやmicroSDカード挿入口カバー、microUSB接続端子カバーを確実に取り付けた状態で、IPX5、IPX8の防水性能、IP5Xの防塵性能を有しています。

IPX5：内径6.3mmの注水ノズルを使用し、約3mの距離から12.5L／分の水を最低3分間注水する条件であらゆる方向から噴流を当てても、電話機としての機能を有することを意味します。

IPX8：常温で水道水、かつ静水の水深1.5mのところに静かに沈め、約30分間放置後に取り出したときに電話機としての機能を有することを意味します。

IP5X：保護度合いを指し、直径75μm以下の塵埃（じんあい）が入った装置に8時間入れてかくはんさせ、取り出したときに電話機の機能を有し、かつ安全を維持することを意味します。

本製品が有する防水／防塵性能でできること

- 雨の中で傘をささずに操作ができます（1時間の雨量が20mm程度）。
 - 手が濡れているときや本製品に水滴がついているときには、SIMカード挿入口カバーやmicroSDカード挿入口カバー、microUSB接続端子カバーの開閉はしないでください。
- 汚れたり水道水以外が付着したりした場合に洗い流すことができます。
 - やや弱めの水流（6L／分未満）で蛇口やシャワーより約10cm離れた位置で常温（5℃～35℃）の水道水で洗えます。
 - 洗うときはSIMカード挿入口カバーやmicroSDカード挿入口カバー、microUSB接続端子カバーを開かないように押さえたまま、ブラシやスポンジなどは使用せず手洗いしてください。洗った後は、水抜きをしてから使用してください。
- プールサイドで使用できます。ただし、プールの水をかけたり、プールの水に浸けたりしないでください。

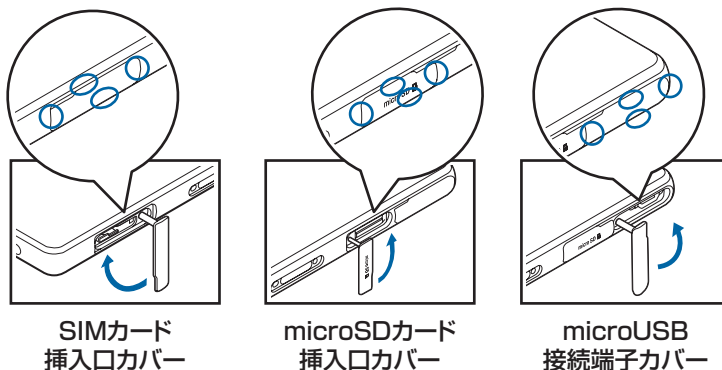
防水／防塵性能を維持するために

水や粉塵の侵入を防ぐために、必ず次の点を守ってください。

- 常温の水道水以外の液体をかけたり、浸けたりしないでください。
- SIMカード挿入口カバーやmicroSDカード挿入口カバー、microUSB接続端子カバーはしっかりと閉じてください。接触面に微細なゴミ（髪の毛1本、砂粒1つ、微細な繊維など）が挟まると、水や粉塵が侵入する原因となります。
- 受話口／通知LED、送話口（マイク）／スピーカー、セカンドマイク、ヘッドセット接続端子、ストラップホールなどを尖ったものでつかないでください。
- 落下させないでください。傷の発生などにより防水／防塵性能の劣化を招くことがあります。
- SIMカード挿入口カバーやmicroSDカード挿入口カバー、microUSB接続端子カバー裏面のゴムパッキンは防水／防塵性能を維持する上で重要な役割を担っています。はがしたり傷つけたりしないでください。また、ゴミが付着しないようにしてください。

SIMカード挿入口カバー、microSDカード挿入口カバー、microUSB接続端子カバーの閉じかた

矢印の方向へカバーを押し込んですき間がないことを確認してください。



ご使用にあたっての注意事項

次のイラストで表すような行為は行わないでください。

〈例〉



また、次の注意事項を守って正しくお使いください。

- 付属品は防水／防塵性能を有していません。
- 規定以上の強い水流（6L／分以上の水流：例えば、蛇口やシャワーから肌に当てて痛みを感じるほどの強さの水流）を直接当てないでください。IPX5の防水性能を有していますが、故障の原因となります。
- 万一、塩水や海水、清涼飲料水がかかったり、泥や土などが付着したりした場合には、すぐに洗い流してください。乾燥して固まると、汚れが落ちにくくなり、傷や故障の原因となります。
- 熱湯に浸けたり、サウナで使用したり、温風（ドライヤーなど）を当てたりしないでください。
- 水中で移動させたり、水面に叩きつけたりしないでください。
- 水道水に浸けるときは、30分以内としてください。
- プールで使用するときは、その施設の規則を守って、使用してください。
- 本製品は水に浮きません。
- 水滴が付着したまま放置しないでください。寒冷地では凍結し、故障の原因となります。
- 受話口／通知LED、送話口（マイク）／スピーカー、セカンドマイク、ヘッドセット接続端子に水滴を残さないでください。通話不良となる恐れがあります。
- SIMカード挿入口カバーやmicroSDカード挿入口カバー、microUSB接続端子カバーが開いている状態で水などの液体がかかった場合、内部に液体が入り、感電や故障の原因となります。そのまま使用せずに電源を切って、相談窓口へご連絡ください。
- SIMカード挿入口カバーやmicroSDカード挿入口カバー、microUSB接続端子カバー裏面のゴムパッキンが傷ついたり、変形したりした場合は、相談窓口にお問い合わせください。
- 本製品が水で濡れた状態でイヤホンなどを接続しないでください。故障の原因となります。
- 湿気の多い場所に長時間放置しないでください。ご使用後は、浴室から取り出しておいってください。
- 寒い屋外から暖かい浴室などに急に本製品を持ち込まず、一度室内に置いて本体が温まってから持ち込んでください。

！ 注意

- 実際の使用にあたって、すべての状況での動作を保証するものではありません。また、調査の結果、お客様の取り扱いの不備による故障と判明した場合、保証の対象外となります。

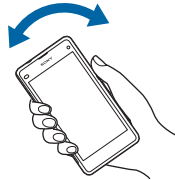
水抜きについて

本製品を水に濡らすと、拭き取れなかった水が後から漏れてくることがありますので、次の手順で水抜きを行ってください。

1 本製品をしっかりと持ち、表面、裏面を乾いた清潔な布などでよく拭き取る

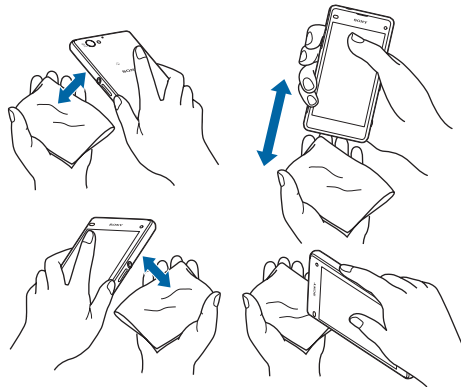


2 本製品をしっかりと持ち、20回程度水滴が飛ばなくなるまで振る



3 本製品内部より出てきた水分を乾いた清潔な布などで十分に拭き取る

- 特に受話口／通知LED、送話口（マイク）／スピーカー、セカンドマイク、ヘッドセット接続端子、各キー、卓上ホルダ用接触端子、各カバーは水が抜けにくいいため、布などに押し付けるように下向きにして拭き取ってください。



4 乾いた清潔な布などを下に敷き、2～3時間程度常温で放置して自然乾燥させる

充電のときは

充電時、および充電後には、必ず次の点を確認してください。

- 充電時は、本製品が濡れていないか確認してください。本製品が濡れている状態では、絶対に充電しないでください。
- 付属品は防水／防塵性能を有していません。
- 本製品が濡れている場合や水に濡れた後に充電する場合は、よく水抜きをして乾いた清潔な布などで水を拭き取ってから、卓上ホルダに差し込んだり、microUSB接続端子カバーを開いたりしてください。
- microUSB接続端子カバーを開いて充電した場合には、充電後はしっかりとカバーを閉じてください。
- ACアダプターやmicroUSBケーブル、卓上ホルダは、風呂場、シャワー室、台所、洗面所などの水周りや水のかかる場所で使用しないでください。火災や感電の原因となります。
- 濡れた手でACアダプターやmicroUSBケーブル、卓上ホルダに触れないでください。感電の原因となります。

ソフトウェアを更新する

最新のソフトウェアに更新することで、最適なパフォーマンスを実現し、最新の拡張機能を手できます。

ご利用上の注意

- 更新前にデータのバックアップをされることをおすすめします。
- 電池残量がフル充電の状態を更新されることをおすすめします。
- 更新中は電源を切らないでください。

ソフトウェア更新の通知設定をする

- 1 ホーム画面で  ▶ **【更新センター】**
- 2  ▶ **【設定】**
- 3 **「通知」にチェックを入れる**

ソフトウェアをダウンロードして更新する

- 1 ホーム画面で  ▶ **【更新センター】**
- 2 **「本体ソフト」タブをタップ** ▶ 
 - 以降は画面の指示に従って操作してください。

最新のソフトウェア更新を自動ダウンロードする

最新のソフトウェア更新を定期的に検索します。更新がある場合はソフトウェアが自動でダウンロードされ、ステータスバーに  が表示されます。

- 1 ホーム画面で  ▶ **【更新センター】**
- 2  ▶ **【設定】**
- 3 **【自動ダウンロードを許可】 ▶ 【常に自動的に更新する】 / 【Wi-Fi経由でのみ自動的に更新する】**
 - メッセージが表示されたら、内容をご確認の上 **【同意する】** をタップしてください。

パソコンに接続して更新する

あらかじめパソコンに「ソフトウェア更新」を行うためのソフトウェアをインストールする必要があります。

ソフトウェアのインストール方法などについては、下記のホームページをご参照ください。

<http://www.sonymobile.co.jp/support/>

主な仕様

本体

OS	Android™ 4.4
プロセッサ	動作周波数：2.2GHz
メインメモリー	2GB
液晶表示装置	画面サイズ:4.3型 解像度名称：HD 解像度：720×1280
ストレージ	16GB
連続待受時間	3G：約500時間 LTE：約450時間 GSM：約410時間
連続通話時間	3G：約580分 GSM：約600分
主な入出力	microUSB接続端子搭載
Wi-Fi	IEEE 802.11a/b/g/n/ac 準拠
GPS機能	搭載
Bluetooth®機能	Bluetooth® v4.0 準拠
カードスロット	microSDメモリーカードスロット×1
対応SDメモリーカード	microSD、microSDHC、microSDXC（最大128GB）
フロントカメラ	有効画素数220万画素
カメラ	有効画素数2070万画素
主な付属品	ACアダプター、microUSBケーブル、卓上ホルダ
外形寸法	高さ：約128mm×幅：約65mm×厚さ：約9.7mm
質量	約138g

- ・本製品の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

ファイル形式（メディア）

次のファイル形式の表示・再生に対応しています。

種類	ファイル形式
音	WAV (PCM、G.711) (.wav)、AAC (.3gp、.m4a、.mp4)、AAC+ (.3gp、.m4a、.mp4)、eAAC+ (.3gp、.m4a、.mp4)、MP3 (.mp3)、AMR-NB (.3gp)、AMR-WB (.3gp)、MIDI (SPMIDI/GM/GML (.mid)、XMF (.xmf)、Mobile XMF 1.0 (.mxmf)、RTTTL/RTX (.rtttl、.rtx)、OTA (.ota)、iMelody (.imy))、Ogg Vorbis (.ogg)、FLAC (.flac)、WMA (.wma)
静止画	JPEG (.jpeg、.jpg)、GIF (.gif)、PNG (.png)、BMP (.bmp)、WEBP (.webp)
動画	H263 (.3gp、.3gpp、.mp4、.m4v)、H264 (.3gp、.3gpp、.mp4、.m4v、.mnv)、MPEG4 (.3gp、.3gpp、.mp4、.m4v)、VP8 (.webm、.mkv)、VP9 (.webm)、Xvid (.avi、.xvid、.mkv)

Guidelines for Safe and Efficient Use

Please follow these guidelines. Failure to do so might entail a potential health risk or product malfunction. If in doubt as to its proper function, have the product checked by a certified service partner before charging or using it.

Recommendations for care and safe use of our products

- Handle with care and keep in a clean and dust-free place.
- **Warning!** May explode if disposed of in fire.
- Do not use in environments where relevant IP rating limitations, if applicable, are exceeded (including excess depths and/or pressures of liquid and/or dust) or expose to excess humidity.
- For optimum performance, the product should not be operated in temperatures below +5 °C or above +35 °C. Do not expose the battery to temperatures above +60 °C.
- Do not expose to flames or lit tobacco products.
- Do not drop, throw or try to bend the products.
- Do not paint or attempt to disassemble or modify the product. Only Sony authorized personnel should perform service.
- Consult with authorized medical staff and the instructions of the medical device manufacturer before using the product near pacemakers or other medical devices or equipment.
- Discontinue use of electronic devices, or disable the radio transmitting functionality of the device, where required or requested to do so.
- Do not use where a potentially explosive atmosphere exists.
- Do not place the product, or install wireless equipment, in the area above an air bag in a car.
- **Caution:** Cracked or broken displays may create sharp edges or splinters that could be harmful upon contact.
- Do not use a Bluetooth Headset in positions where it is uncomfortable or will be subject to pressure.

Children

Warning! Keep out of the reach of children. Do not allow children to play with mobile phones or accessories. They could hurt themselves or others. Products may contain small parts that could become detached and create a choking hazard.

Power supply (Charger)

Connect the charger to power sources as marked on the product. Do not use outdoors or in damp areas. Do not alter or subject the cord to damage or stress. Unplug the unit before cleaning it. Never alter the plug. If it does not fit into the outlet, have a proper outlet installed by an electrician. When a power supply is connected there is a small drain of power. To avoid this small energy waste, disconnect the power supply when the product is fully charged. Use of charging devices that are not Sony branded may pose increased safety risks.

Battery

New or idle batteries can have short-term reduced capacity. Fully charge the battery before initial use. Use for the intended purpose only. Charge the battery in temperatures between +5°C and +35°C. Do not put the battery into your mouth. Do not let the battery contacts touch another metal object. Turn off the product before removing the battery. Performance depends on temperatures, signal strength, usage patterns, features selected and voice or data transmissions. Only Sony service partners should remove or replace built-in batteries. Use of batteries that are not Sony branded may pose increased safety risks. Replace the battery only with another Sony battery that has been qualified with the product as per the standard IEEE-1725. Use of an unqualified battery may present a risk of fire, explosion, leakage or other hazard.

Personal medical devices

Mobile phones may affect implanted medical equipment. Reduce risk of interference by keeping a minimum distance of 15cm (6 inches) between the phone and the medical device. Do not carry the phone in your breast pocket. Turn off the phone if you suspect interference. For use in proximity to personal medical devices, please consult a physician and the device manufacturer.

Driving

In some cases, vehicle manufacturers may forbid the use of phones in their vehicles unless a handsfree kit with an external antenna supports the installation. Check with the vehicle manufacturer's representative to be sure that a mobile phone or Bluetooth handsfree will not affect the electronic systems in the vehicle. Full attention should be given to driving at all times and local laws and regulations restricting the use of wireless devices while driving must be observed.

GPS/Location based functions

Some products provide GPS/Location based functions. Location determining functionality is provided "As is" and "With all faults". Sony does not make any representation or warranty as to the accuracy of such location information. Use of location-based information by the device may not be uninterrupted or error free and may additionally be dependent on network service availability. Please note that functionality may be reduced or prevented in certain environments such as building interiors or areas adjacent to buildings. Caution: Do not use GPS functionality in a manner which causes distraction from driving.

Antenna

Use of antenna devices not marketed by Sony could damage the phone, reduce performance, and produce SAR levels above the established limits. Do not cover the antenna with your hand as this affects call quality, power levels and can shorten talk and standby times.

Flight mode

Bluetooth and WLAN functionality, if available in the device, can be enabled in Flight mode but may be prohibited onboard aircraft or in other areas where radio transmissions are prohibited. In such environments, please seek proper authorization before enabling Bluetooth or WLAN functionality even in Flight mode.

Malware

Malware (short for malicious software) is software that can harm the mobile phone. Malware or harmful applications can include viruses, worms, spyware, and other unwanted programs. While the device does employ security measures to resist such efforts, Sony does not warrant or represent that the device will be impervious to the introduction of malware. You can however reduce the risk of malware attacks by using care when downloading content or accepting applications, refraining from opening or responding to messages from unknown sources, using trustworthy services to access the Internet, and only downloading content to the mobile phone from known, reliable sources.

Accessories

Use only Sony branded original accessories and certified service partners. Sony does not test third-party accessories. Accessories may influence RF exposure, radio performance, loudness, electric safety and other areas. Third-party accessories and parts may pose a risk to your health or safety or decrease performance.

Disposal of old electrical and electronic equipment and battery

This symbol on the electronic product or on its packaging indicates that the electronic product (including the battery) should not be treated as household waste. Instead it should be handed over to the appropriate collection point for the recycling of electrical and electronic equipment. Do not attempt to remove internal batteries. Internal batteries shall be removed only by a waste treatment facility or trained service professional. By ensuring this product is disposed of correctly, you will help prevent potential negative consequences for the environment and human health, which could otherwise be caused by inappropriate waste handling of this product. The recycling of materials will help to conserve natural resources. For more detailed information about recycling of this product, please contact your local city office, your household waste disposal service or the shop where you purchased the product.

Memory card

If the product comes complete with a removable memory card, it is generally compatible with the handset purchased but may not be compatible with other devices or the capabilities of their memory card. Check other devices for compatibility before purchase or use. If the product is equipped with a memory card reader, check memory card compatibility before purchase or use.

Memory cards are generally formatted prior to shipping. To reformat the memory card, use a compatible device. Do not use the standard operating system format when formatting the memory card on a PC. For details, refer to the operating instruction of the device or contact customer support.

Warning!

If the device requires an adapter for insertion into the handset or another device, do not insert the card directly without the required adapter.

Precautions on memory card use

- Do not expose the memory card to moisture.
- Do not touch terminal connections with your hand or any metal object.
- Do not strike, bend, or drop the memory card.
- Do not attempt to disassemble or modify the memory card.
- Do not use or store the memory card in humid or corrosive locations or in excessive heat such as a closed car in summer, in direct sunlight or near a heater, etc.
- Do not press or bend the end of the memory card adapter with excessive force.
- Do not let dirt, dust, or foreign objects get into the insert port of any melody card adapter.
- Check if you have inserted the memory card correctly.
- Insert the memory card as far as it will go into any memory card adapter needed. The memory card may not operate properly unless fully inserted.
- We recommend that you make a backup copy of important data. We are not responsible for any loss or damage to content you store on the memory card.
- Recorded data may be damaged or lost when you remove the memory card or memory card adapter, turn off the power while formatting, reading or writing data, or use the memory card in locations subject to static electricity or high electrical field emissions.

Protection of personal information

Erase personal data before disposing of the product. To delete data, perform a master reset. Deleting data from the memory of the mobile phone does not ensure that it cannot be recovered. Sony does not warrant against recovery of information and does not assume responsibility for disclosure of any information even after a master reset.

Loudness warning!

Avoid volume levels that may be harmful to your hearing.

エンドユーザーライセンス契約

本製品及び付属のメディアに含まれるソフトウェア（以下「本ソフトウェア」という）は、ソニーモバイルコミュニケーションズ株式会社（以下「ソニーモバイル」という）及び／又はその子会社、サプライヤー、ライセンサーがその権利を有するものとします。

ソニーモバイルは、お客様に対し、本ソフトウェアについて、本製品と共に使用する場合に限り、非独占、限定的なライセンス（以下「本ライセンス」という）を許諾します。

本ソフトウェアの権利は、何ら販売、移転、その他の方法で譲渡されるものではありません。

お客様は、いかなる手段を用いても、本ソフトウェアのソースコード及びコンポーネントを解読してはならず、また、本ソフトウェアを複製、頒布、修正することは出来ません。

お客様が本ソフトウェアについての権利及び義務を第三者に譲渡出来るのは、本ソフトウェアを本製品と共に第三者に譲渡し、かつ、当該第三者が、本ライセンスの条件を遵守することにつき書面をもって合意した場合に限られます。

本ライセンスは、お客様の本製品使用期間中、有効に存続します。

本ライセンスは、お客様の権利を本製品と共に第三者に書面により譲渡することによって終了することが出来ます。

お客様が、本契約のいずれかの条項に違反した場合、本ライセンスは直ちに取消されます。

本ソフトウェアに関する全ての権利、権原、権益は、ソニーモバイル、サプライヤー、及びライセンサーに帰属するものとします。

本ソフトウェアに、サプライヤー又はライセンサーが権利を有する素材又はコードが含まれている場合は、その限りにおいて、かかるサプライヤー又はライセンサーは本契約における受益者となるものとします。

本契約の準拠法は、日本法とします。

上記準拠法は、適用可能な場合には、消費者の法定の権利にも適用されるものとします。

本ソフトウェアにつき追加的な条件が付された場合は、かかる条件は、本契約の各条項に加えて、お客様の本ソフトウェアの保有及び使用について適用されるものとします。

輸出管理規制について

本製品および付属品は、日本輸出管理規制（「外国為替及び外国貿易法」およびその関連法令）の適用を受ける場合があります。また米国再輸出規制（Export Administration Regulations）の適用を受ける場合があります。本製品および付属品を輸出および再輸出する場合は、お客様の責任および費用負担において必要となる手続きをお取りください。詳しい手続きについては経済産業省または米国商務省へお問い合わせください。

The products and accessories may be subject to the application of the Foreign Exchange and Foreign Trade Act and other related laws and regulations in Japan.

In addition, the Export Administration Regulations (EAR) of the United States may be applicable.

In cases of exporting or reexporting the products and accessories, customers are requested to follow the necessary procedures at their own responsibility and cost. Please contact the Ministry of Economy, Trade and Industry of Japan or the Department of Commerce of the United States for details about procedures.

おサイフケータイ®対応サービスご利用上の注意

お客様によるおサイフケータイ対応サービスのご利用に際しては、以下の事項に同意していただきます。

おサイフケータイ対応サービスについて

1. おサイフケータイ対応サービス（以下、「対応サービス」といいます。）とは、NFCと呼ばれる近接型無線通信方式を用いた、電子マネーやポイントなどのサービスの総称です。NFCとは、Near Field Communicationの略で、ISO（国際標準化機構）で規定された国際標準の近接型無線通信方式です。FeliCaを含む非接触ICカード機能やリーダー／ライター（R/W）機能、機器間通信機能（P2P）などをご利用いただけます。
2. 対応サービスの利用にあたり、FeliCaチップが搭載された端末（以下、「対応端末」といいます。）で、ご利用になりたいサービスプロバイダのおサイフケータイ対応アプリ（以下、「対応アプリ」といいます。）のダウンロード、またはサイトへのアクセスをする必要があります。
3. 対応サービスの利用にあたり、お客様はサービスの提供責任者である各サービス提供者との間で当該対応サービスの利用契約を締結する必要があります。また、対応サービスの内容および提供条件等について、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
4. 対応サービスのご利用にあたっては、製品に搭載されたFeliCaチップへ、サービスのご利用に必要なデータ（電子マネーやポイントのバリューを含む）を書き込む場合があります。

FeliCaチップ内のデータについて

1. FeliCaチップ内のデータの使用、管理、および消去等については、お客様ご自身の責任により行っていただきます。
2. FeliCaチップ内のデータが消失してしまっても、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。万一消失してしまった場合の対応は、各対応サービス提供会社にお問い合わせください。
3. 対応端末の故障修理、盗難紛失等、いかなる場合においても、当社はFeliCaチップ内のデータの移行や復旧はできませんのであらかじめご了承ください。
4. 対応サービス提供者によっては、機種変更や故障などに備え、FeliCaチップ内のデータを新しい対応端末に移行、または故障修理後の対応端末に再発行する等のサポート（以下「データ移行・再発行等のサポート」といいます。）を提供している場合があります。対応サービス利用の際には、事前にデータ移行・再発行等のサポートの有無、およびその提供条件について各サービス提供者にご確認ください。
5. FeliCaチップ内のデータ移行・再発行等のサポートの無い対応サービスを選択した場合、データ移行・再発行等のサポートを利用しなかった場合、または利用した当該サポートが正常に実施できなかったためにデータ移行・再発行等が行われなかった場合に、お客様に生じた損害について、当社は一切責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
6. FeliCaチップ内にデータが書き込まれたままの状態に対応端末の修理を行うことはできません。対応端末の故障・修理の場合は、データ移行・再発行等のサポートをご利用のうえFeliCaチップ内のデータを新しい対応端末に移行、または故障修理後の対応端末に再発行する手続きを取っていただき、当社がFeliCaチップ内のデータを消去することに承諾していただく必要があります。データの消去の結果、お客様に損害が生じた場合であっても、当社は責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

7. 対応端末を譲渡する場合、事前にFeliCaチップ内のデータをお客様ご自身で削除または移行してください。FeliCaチップ内のデータを削除または移行しなかったことによりお客様に生じる損害について、当社は一切責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

盗難・紛失について

1. お客様が対応端末を盗難・紛失した場合、FeliCaチップ内のデータを不正に利用されてしまう可能性があるため、盗難・紛失には十分ご注意ください。
2. FeliCaチップ内のデータが不正利用されたことによりお客様に損害が生じた場合であっても、当社は一切責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
3. 対応端末を盗難・紛失された場合、当社ではFeliCaチップの機能を停止させることはできません。盗難・紛失時の対処方法については各対応サービス提供者にお問い合わせください。
4. 万一の対応端末の紛失・盗難等に備え、ご利用前におサイフケータイのロックを設定されることを推奨します。ロックの方法は取扱説明書をご確認ください。ただし、ロックの機能をご利用いただいた場合でも、FeliCaチップ内のデータの不正利用等を完全に防止できるとは限りませんのであらかじめご了承ください。

FeliCaチップ固有の情報について

1. 対応サービスによっては、お客様の対応端末に搭載されたFeliCaチップを特定するために、FeliCaチップの固有の番号が本対応サービス対応端末から当該サービス提供者に通知される場合があります。
2. 当社は、サービス提供者が対応サービスを提供するにあたり必要且つ契約の範囲内で、お客様のFeliCaチップ固有の番号と、当社によるFeliCaチップ内のデータの完全消去およびFeliCaチップの廃棄についての情報をサービス提供者に通知する場合があります。

サービス提供者の提供する対応アプリ、サイトについて

1. 対応サービスの利用、対応アプリのダウンロード、ネットワーク接続機能を有する対応アプリやサイトの利用には、通信料が発生する場合があります。
2. 対応サービスのご利用開始後に対応端末の契約名義又は電話番号の変更があった場合等、当該対応サービスのご利用及びお客様ご自身でのFeliCaチップ内データの削除ができなくなることがあります。なお、当該対応サービスのFeliCaチップ内のデータを削除する場合は、あらかじめ当社により当該対応端末に搭載されたFeliCaチップ内の全てのデータを消去する必要がありますのでご了承ください。
3. 電池パックを外した場合は、対応サービス及びNFC機能をご利用いただけません。
4. 電池残量がなくなった場合、対応サービス及びNFC機能がご利用いただけない場合があります。
5. 機内モード設定中は、対応サービス及びNFC機能がご利用いただけない場合があります。

知的財産権について

著作権・肖像権について

お客様が本製品を利用して撮影またはインターネット上のホームページからダウンロードなどにより取得した文章、画像、音楽、ソフトウェアなど第三者が著作権を有するコンテンツは、私的使用目的の複製や引用など著作権法上認められた場合を除き、著作権者に無断で複製、改変、公衆送信などすることはできません。

実演や興行、展示物などには、私的使用目的であっても撮影または録音を制限している場合がありますのでご注意ください。

また、お客様が本製品を利用して本人の同意なしに他人の肖像を撮影したり、撮影した他人の肖像を本人の同意なしにインターネット上のホームページに掲載するなどして不特定多数に公開することは、肖像権を侵害する恐れがありますのでお控えください。

商標について

本書に記載している会社名、製品名は、各社の商標または登録商標です。

- 「Bluetooth」は、Bluetooth SIG, Inc.の登録商標であり、ソニーモバイルコミュニケーションズはライセンスに基づいて使用しています。



- 「Wi-Fi」は、Wi-Fi Allianceの登録商標です。
- Wi-Fi Protected Setup、Wi-Fi Protected Setupロゴ、Wi-Fi DirectおよびWi-Fi CERTIFIED MiracastはWi-Fi Allianceの商標です。



- Xperia、TrackID、Socialife、Xperia Loungeは、ソニーモバイルコミュニケーションズ株式会社の商標または登録商標です。
- PlayStation、PS、DUALSHOCKは、株式会社ソニー・コンピュータエンタテインメントの商標または登録商標です。



- Sony、スイングパノラマ、スマイルシャッター、プレミアムおまかせオート、顔検出、Walkman、X-Reality、FeliCa、Reader、STAMINA、Sony Entertainment Network、TVSideView、Video Unlimitedはソニー株式会社の商標または登録商標です。
- SmartAR®は、ソニー株式会社が開発した拡張現実技術で、同社の日本国内及びその他の国における登録商標または商標です。
- POBoxおよびPOBoxロゴは、株式会社ソニーコンピュータサイエンス研究所の登録商標です。
POBoxは、株式会社ソニーコンピュータサイエンス研究所とソニーモバイルコミュニケーションズ株式会社が共同開発した技術です。
- microSDロゴ、microSDHCロゴ、microSDXCロゴはSD-3C, LLCの商標です。



- 「おサイフケータイ」は、株式会社NTTドコモの登録商標です。
- 🔗はフェリカネットワークス株式会社の登録商標です。
- FeliCaは、ソニー株式会社が開発した非接触ICカードの技術方式です。
- NFCはNFC Forum, Inc.の米国およびその他の国における商標または登録商標です。
- 「Google」「Google」ロゴ、「Android」「Google Play」「Google+」「Gmail」「Google マップ」「ハングアウト」「YouTube」「Google Chrome」は、Google, Inc.の商標または登録商標です。
- FacebookおよびFacebookロゴはFacebook, Inc.の商標または登録商標です。
- 「Twitter」はTwitter, Inc.の商標または登録商標です。
- 「DLNA」、DLNAロゴはDigital Living Network Allianceの商標または登録商標です。
- MHL、Mobile High-Definition LinkおよびMHLロゴは、MHL, LLCの商標または登録商標です。



- MirrorLink、MirrorLinkロゴはCar Connectivity Consortium LLC.の商標または登録商標です。
- LinuxはLinus Torvalds,individualの登録商標です。
- 「Microsoft」「Windows」「Windows Vista」「Windows Media」と「Microsoft Exchange ActiveSync」は、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における商標または登録商標です。
- 本製品は、Microsoftの知的財産権に依存した技術が含まれています。かかる技術の本製品から切り離して、Microsoftのライセンス許可を受けずに使用または頒布することは禁止されています。
- 本製品は、MPEG-4ビジュアルおよびAVC特許ポートフォリオライセンスのもとで、消費者が商業目的以外で個人的に使用するために提供されており、次の用途に限定されます。(i) MPEG-4ビジュアル標準（以下「MPEG-4ビデオ」）またはAVC規格（以下「AVCビデオ」）に準拠したビデオのエンコード、および/または(ii) 商業目的以外の個人的な活動に従事している消費者によってエンコードされたMPEG-4またはAVCビデオのデコード、および/または、MPEG-4またはAVCビデオの提供をMPEG LAによってライセンス許可されているビデオプロバイダから入手したMPEG-4またはAVCビデオのデコード。その他の用途に対するライセンスは許諾されず、黙示的に許可されることもありません。販売促進目的、内部目的および商業目的の使用およびライセンス許可に関する追加情報は、MPEG LA, LLCより入手できます（<http://www.mpegla.com>を参照）。MPEGレイヤー3オーディオデコード技術は、Fraunhofer IIS and Thomsonによってライセンス許可されます。
- その他、本書で登録するシステム名、製品名は、一般に各開発メーカーの登録商標あるいは商標です。
なお、本文中では、TM、®マークは表記していません。
- 本書に明示されていないすべての権利は、その所有者に帰属します。